

「三条教則」關係資料（二十二）

本号は

○『三条叢説』卷一・卷二 瑕丘宗興（明治八年七月）
の一点を収める。

「三条叢説」 瑕丘宗興（明治八年七月）

本書は、和装袋糸綴で、第一冊（巻一）三十一丁、第二冊（巻二）四十丁、第三冊（巻三）三十一丁、第四冊（巻四）二十六丁の全四冊二二八丁より成る。第一冊目表紙題簽に「三条叢説 巻一」、表紙見返しに「中講義瑕丘宗興著 三条叢説 全四巻 京都書肆 永田文昌堂梓」とあり、冒頭に「三条叢説叙」と題する明治七年十一月起草の自序一丁を掲げたあと、本文に入っている。第二冊・第三冊・第四冊も表紙題簽はおの書の書名のあと「巻二」「巻三」「巻四」となっていて、第四冊末尾の刊記に「明治八年四月 官許（マシ） 全七月 刻成 京都書肆 花屋町油小路東入丁 永田調兵衛」とある。巻末に「諸国弘通書林」と題して「京都花屋町通油小路東江入町書林 文昌堂 永田調兵衛藏版」以下、「東京 須原屋茂兵衛」をはじめ、「豊後中津 幸子屋嘉平」まで八十におよぶ全国書林広告二丁半を載せる。そして、全四冊ともに一丁二十行の縦罫紙を使用している。

著者は、幕末から明治初年にかけて活躍した真宗本願寺派の有力な学僧で、近江国即往寺住職の勸学瑕丘宗興である。したがって著述もきわめて多く、本書以外にも三条教則の衍義書である「山房夜話」（本紀要第三十三集六〇頁―九五頁所収）を含めて約二十種ほど存する。著述者の詳細については、同紀要中の解題（五七頁―五九頁）を参照されたい。

内容体裁については、左のような構成になっている。

第一冊（巻一）

三条叢説叙（自序） 二丁

本文

須知ノ諸篇 九丁

五箇条ノ御誓文

億兆ヲ安撫シ国威ヲ宣布被遊度ノ御宸翰

庚午正月三日宣_二布大教_一詔

宣教使心得書 十五ヶ条

辛未七月四日宣教使へ御沙汰

辛未十一月 日教部省ヨリ各宗管長教職へ説諭 九ヶ条

壬申四月二十八日教部省ヨリ教導職へ達、教則

三条ノ歌

三条易知 一丁半 (三ヶ条の一一に対する四―五行程度の、きわめて簡単な衍義)

三条略説 五丁 (三ヶ条の一一に対する約二丁半づつ程度の簡単な衍義)

三条中説 十三丁半 (三ヶ条の一一に対する約三丁半―五丁程度のやや詳しい衍義)

計三十一丁

第二冊 (卷二)

三条広説第一 四十丁 (三ヶ条のうち第一条に対するきわめて詳細な衍義)

第三冊 (卷三)

三条広説第二 三十二丁 (三ヶ条のうち第一条に対するきわめて詳細な衍義)

第四冊 (卷四)

三条広説第三 二十三丁 (三ヶ条のうち第三条に対するきわめて詳細な衍義)

このように、衍義の分量はかなり多いが、巻二・巻三・巻四は三条広説として三条教則衍義を拡大敷衍したものであって、やはり本書の核心部分は第一冊（巻一）にあると言つてよい。

衍義分量の多さと略説・中説・広説というような幅広く多岐にわたる詳述内容から見ると、本書は三条教則衍義書のなかでも特段の学問的衍義書と言わねばならない。真宗教義における真俗二諦論中、「真俗関連説」の「相資相依説」の立場をとつた字僧としての面目躍如と言つべきであろう。

また、三条教則に関するいわゆる道歌を載せている点も珍しいが、それ以上に「須知ノ諸篇」中、「億兆ヲ安撫シ国威ヲ宣布被遊度ノ御宸翰」を載せている点はさすがと言わざるを得ない。何故なら「五箇条ノ御誓文」は広く知られているが、これと同時に仰出された一对の片方の勅諭、つまりこの御宸翰については知る人も少なく、ほとんど忘れ去られていて、しかもその内容はきわめて重要だからである。蓋し慧眼の至りと言わねばならないだろう。

実は、本書は以前に一度翻刻されたことがある（同朋舎出版『明治仏教思想資料集成』第四卷、昭和五十五年）。もちろんそれは斯界にとつて結構なことであるが、問題もある。それは福島寛隆氏による解題である。それは、特定のイデオロギーによる極端偏頗な一方的かつ教条的な解釈であつて、とうてい正鵠を得たものとは言いがたいものである。たとえば、その一、二例を示すと「教部開省以前の、仏教を形の上でも全面的に掛除しようとした達書等までが宝章とされることに奇異の感を禁じ得ないが、それは、廃仏状況に対する著者の誤認から出たものではなく、むしろ著者なりの護法観に支えられた天皇制国家への妥協ないし迎合の結果である……」、「著者の立場は、復古神道に基づく国体論イデオロギーを全面的に受容した上で民衆教化を積極的に担おうとするものである。」と言つがごときである。たしかに本文中には、神道に過分に傾斜したような文言表現はあるものの、それは著者が真宗僧、また仏

教者である以前の大前提として、我が国の民の一人である意識を表明したものであって、福島氏の言うがごとき「本書のみならず、一連の著述に見られる限度を越えた神道の受容が……」というような問題は決して当たっていない。つまり無節操な神道受容では決してないのである。神道的文言表現の量の多さで著者の志向性をはかることは間違いである。その証拠に、著者瑕丘宗興は本書中の三条略説のなかで、仏教者にとっては一番問題となる「敬神」の解釈について、「敬神トハ神ノ言ハ汎ク諸神ニ通スレトモ、今ハ天照大神ヲ指スナリ」と明確に皇室の祖先神としての天照太神一神に帰一させて説いている。このような敬神把握は、他の仏教者も皆おしなべてこのようであり、石門心学やその他も皆、この方式で把握解釈していて、決して特別に違和感のある解釈ではない。すなわち、瑕丘宗興だけが特別の表現をしているのではないのである。逆に、神道家であれば、かえってこのような解釈文言にはならないのである。すなわち、神道家の場合はほぼ一様に「天神七代地神五代」というかたちで説くことが普通通常である。この一点をもつてしても、左翼教条的イデオロギーに基づく解釈は、かえって著者の真意（＝深意）もそこなうものであると言わねばならないだろう。瑕丘宗興は仏教者としての自身の立場を放棄し神道に迎合しているわけでは決してないのである。要は先入見を入れず、著述者の言を、まずもつて素直に聴き、受けとめることこそ肝要なのである。とんでもない誤謬にもとづく解題などあつてはならない。

以上の理由に加えて、その翻刻も事情により目に触れる機会は少ない。さらに誤植や閲読における書体の問題も含め、再度の翻刻機会と知りつつ、敢えて割厭に付した。ただ、紙幅の關係で、本号は全四冊中の前半二冊、巻一・巻二だけを掲載し、後半の二冊は次号掲載とした。なお、本書の収載に際しては、筆者架蔵本に依った。(二三宅)

凡 例

凡例については、前号にしたがった。

「三条叢說」 瑕丘宗興 (明治八年七月)

瑕丘 三条叢說叙
宗興著

三条教憲、至矣、矣、可_レ以神說焉、可_レ以仏說焉、其善不同而同歸、治者也、貧道不敏、雖不足_レ了_二妙旨_一、或_レ心人需、或_レ獨自斲卷而說之、舒而解之、亡慮及四五回、鄙稿積在_二篋底_一、第是自家燕石也、有意_レ公于世乎哉。書肆永田氏、曾_レ剋_二鄙稿_一者數部、今復求_二三条之說_一、泥_レ乞_レ不已、謂曰此不_二啻資_一、野生家業、有_レ裨乎天下後世、亦不_二少小_一矣、前_レ剋_二二十八題之弁_一、半歲之間、弘_レ之已過_二万余部_一、其有_レ大_レ補于世、可_レ以知_レ焉、願_レ師不_レ吝_二乎利他之務_一、更_レ賜_二三条之草_一、拙家既有_二二十八題之梓_一、而無_レ根本_二三条之本_一、則拙家之闕典也、若_レ双_レ存本末、真_レ是一家之珍寶也、師請_レ恕_レ之、余聞_レ之笑曰、前_レ剋之_レ広_レ、布_レ子之幸得_二天之時_一者耳、非_レ桎_レ梏之功也、利他之行、則雖_二余之所_一欲、余豈敢_レ當_レ焉哉、余既自_レ懲_レ好

弁好事之譏、而子復欲_レ令_レ為_二馮婦_一耶、雖然_レ子之望_レ存_二本末一具_一、以_レ益_二世上初人_一之人、是不_レ惡_レ然、則贈_レ余之燕石、為_二子之家珍_一、亦不_レ惡、把_レ二卷舒諸篇_一、使_レ黃口兒、卷舒自在、亦不_レ惡、苟_レ自他同不_レ惡、則是善耳、善豈可_レ拒乎、於是輯_レ厥諸稿、顔_レ之曰_二三条叢說_一、然而卷首標_レ須_レ知_レ寶章_一者、便_レ盛_レ燕石_一、以_二錦囊_一者、則其贈_レ錦囊之石、不_レ亦善乎、受_レ錦囊之石、不_レ亦善乎、人之處_レ世、為_レ善最樂、不_レ復願_二其他_一也

明治七年十一月

東湖日谿老漢瑕丘宗興題於閑雲閣上

印 印

瑕丘 三条叢說卷一
宗興著

須知ノ諸篇

○五箇条ノ御誓文

一 広ク會議ヲ興シ万機公論ニ決スヘシ

一 上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フヘシ

一官武一途庶民ニ至迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦サラシ
メンコトヲ要ス

一旧来ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘク

一智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ

我国未曾有ノ変革ヲ為サントシ朕躬ヲ以テ來ニ先ンシ天
地神明ニ誓ヒ大ニ斯国是ヲ定メ万民保全ノ道ヲ立ントス
衆亦此旨趣ニ基キ協心努力セヨ

戊辰三月 御諱

○億兆ヲ安撫シ国威ヲ宣布被遊度ノ御宸翰

朕幼弱ヲ以テ粹ニ大統ヲ紹キ爾來何ヲ以テ万国ニ対立シ
列祖ニ事ヘ奉ランヤト朝夕恐懼ニ堪サル也窃ニ考ルニ中
葉朝政衰テヨリ武家権ヲ專ニシ表ニハ朝廷ヲ推尊シテ実
ハ敬シテ是ヲ遠ケ億兆ノ父母トシテ絶テ赤子ノ情ヲ知ル
コト能サルヤウ計リナシ遂ニ億兆ノ君タルモ唯名ノミニ
成リ果其力為ニ今日朝廷ノ尊重ハ古ニ倍セシカ如クニテ
朝威ハ倍衰ヘ上下相離ル、コト霄壤ノ如シカ、ル形勢ニ
テ何ヲ以テ天下ニ君臨センヤ今般朝政一新ノ時ニ膺リ天
下億兆一人モ其処ヲ得サル時ハ皆朕カ罪ナレハ今日ノ事

朕自身骨ヲ勞シ心志ヲ苦メ艱難ノ先ニ古列祖ノ尺サセ
給ヒシ蹤ヲ履ミ治蹟ヲ勤メテコソ始テ天職ヲ奉メ億兆ノ
君タル所ニ背カサルヘシ往昔列祖万機ヲ親ラシ不臣ノモ
ノアレハ自ラ將トシテコレヲ征シ玉ヒ朝廷ノ政総テ簡易
ニシテ如此尊重アラサルユヘ君臣相親シミテ上下相愛シ
徳沢天下ニ洽ク国威海外ニ輝キシナリ然ルニ近來宇内大
ニ開ケ各国四方ニ相雄飛スルノ時ニ当リ独リ我国ノミ世
界ノ形勢ニウトク旧習ヲ固守シ一新ノ効ヲハカラス朕徒
ニ九重中ニ安居シ一日ノ安キヲ偷ミ百年ノ憂ヲ忘ル、ト
キハ遂ニ各国ノ凌侮ヲ受ケ上ハ列聖ヲ辱シメ奉リ下ハ億
兆ヲ苦シメン事ヲ恐ル故ニ朕コ、ニ百官諸侯ト広ク相誓
ヒ列祖ノ御偉業ヲ継述シ一身ノ艱難辛苦ヲ問ス親ラ四方
ヲ經營シ汝億兆ヲ安撫シ遂ニ八万里ノ波濤ヲ開拓シ国威
四方ニ宣布シ天下ヲ富嶽ノ安キニ置ンコトヲ欲ス汝億兆
旧來ノ陋習ニ慣レ尊重ノミヲ朝廷ノ事トナシ神州ノ危急
ヲシラス朕一タヒ足ヲ挙げハ非常ニ驚キ種々ノ疑惑ヲ生
シ万口紛紜トシテ朕カ志ヲナサ、ラシムル時ハ是朕ヲシ
テ君タル道ヲ失ナハシムルノミナラス從テ列祖ノ天下ヲ
失ハシムル也汝億兆能々朕カ志ヲ体認シ相率テ私見ヲ去

リ公義ヲ採リ朕カ業ヲ助テ神州ヲ保全シ列聖ノ神靈ヲ慰シ奉ラシメハ生前ノ幸甚ナラン

○庚午正月三日宣布大教詔

朕恭惟^レ天神天祖立^レ極垂^レ統列皇相承繼^レ之述^レ之祭政一
致億兆同心治教明^ニ于上^ニ風俗美^ニ于下^ニ而中世以降時有^二
汚隆^一道有^二顛晦^一矣今也天運循環百度維新宜明^ニ治教^一以
宣揚^レ惟神之道^一也因新命宣教使^レ布^レ教天下^一汝群臣衆庶
其体^ニ斯旨^一

○宣教使心得書

一 教典誦読講談之節ハ礼服用威儀ヲ敬慎スヘキ事
一 己ヲ修メテ然ル後二人ヲ教フヘク己ヲ正クシテ然ル後
二人ヲ正スヘシ是故ニ其身ニ於テ真ニ皇祖ノ大道ヲ昭
明ニシ真ニ皇祖ノ大教ヲ尊信シ生死不惑神明ニ依頼シ
我カ言行ヲ敬慎シ身ヲ以テ天下衆庶ノ先導タラン事ヲ
志願ス可シ是緊要ノ第一義也
一 教官タル者ハ我誠心ヲ以テ億兆ヲ誘掖薰陶シテ信從セ
シムルニアリ先輩ノ儒仏ヲ排斥セシハ道ヲ論セシコト

ニテ是ハ学校ニ於テ學問ノ上ニハ為スヘキナレトモ今
日教ヲ布クトキハ他ヲ誹謗シ一毫モ争氣アリテハ人ヲ
服スル事能ハス大ニ教化ノ大害ト為レハ深クコレヲ慎
ムヘシコレ教官第一ノ心得ナリ

一 教官タル者第一大教ノ御趣旨深ク其心ニ理會シ説諭之
際意義失誤無之様誠実懇篤ニ誘導シ大ニ教化ヲ宣布ス
ルヲ以テ要トスヘキ事

一 説諭ノ際牽強附會荒唐戲謔ノ語言ヲ発シ世ヲ惑ハシ人
ヲ誣ユル等ノ談説嚴ニ禁止スヘキ事

一 懶惰慢易之風深ク相慎ミ言語行事ノ間尤恭敬謹慎ヲ主
トシ人ノ輕侮ヲ来シ候様ノ舉動有之間敷事

一 飲食男女大慾之所存人ノ過失此二事ヨリ生ス別シテ謹
慎ヲ加フヘキ事

一 貪汚ノ風聊モ有之時ハ大ニ人心ヲ損シ嫌疑ヲ招キ深ク
教化ノ妨害ト相成候間嚴ニ戒慎スヘキ事

一 御威光ヲ負ヒ人ヲ凌侮シ我意我慢ノ振廻等堅ク慎ムヘ
シ威嚴ハ己レノ威儀言行ヲ慎ムヨリ生シ候事ニテ聊モ
圭角ヲ以テ威嚴ヲ立ツ間シク和易簡約忠恕之風心掛ヘ
キ事

一 教官ハ衆庶ノ真ニ信仰依頼イタシ候様心ヲ可用事也依
之居所飲食ヨリ駄路宿泊人馬繼立等ニ至ル迄易簡ヲ主
トシ所在衆庶ノ迷惑ヲ思惟シ人ニ厭ハレサル様其身勤
儉ノ実行相立人望テ敬服信從セン事ヲ要スヘキ事

一 巡行先ニ於テ孝子義僕節婦其他嘉德善行異才異能ノ者
見聞ニ及ヒ候ハ、其所ノ府藩県ニ申通スヘシ又善事
ヲ妨ケ良民ヲ病シメ姦慝暴戾其他惡行惡意之者見聞候
ハ、其家族組合ヲ始メ頭立候者ヲモ呼寄セテ人事ヲ尽シ
百方教諭ヲ加フヘシ一人ニテモ教化ニ漏ル、者アルハ
其實吾ニアリト篤ク念慮ニ県クヘク教ニ從ハサル者ア
ルハ教官ノ不手際ナリ改心至ス者アレハ教官ノ功タル
ヘキ事

一 巡行先ニ於テ願書訴狀等取次ノ儀一切停止並私謁苞苴
取扱ニ涉リ候様之儀致致問敷ハ勿論タル可キ事
一 希望ノ者有之候共禁厭祈祷之儀一切停止之事
一 大命ヲ奉承シ諸國ニ巡行シ其境ニ至リ其所ノ管轄府藩
県ノ吏士ニ会シ案内ニ応シ教諭スヘキ所ニ至リ神職村
長町老以下男女ニ限ラス人員ヲ計リ日割ヲ以テ会集セ
シメ教典ヲ誦讀シ講談誘導懇切ヲ尽スヘキ事

但シ民庶遠方ヨリ招ク可ラス一日ニ往返スルヲ期スヘ
キ事

一 府藩県教官モ右条件ニ准シ其宜キニ隨フヘキ事

○辛未七月四日宣教使ヘ御沙汰

大教之旨要別紙之通被仰出候條篤ク御趣意ヲ奉体シ宣布
可致事

別紙

大教ノ旨要ハ神明ヲ敬シ人倫ヲ明ニシ億兆ヲシテ其心ヲ
正クシ其職ヲ効シ以テ朝廷ニ奉事セシムルニアリ教ノ以
テ之ヲ導クコトナケレハ其心ヲ正クスルコト能ハス政ノ
以之ヲ治ムルコトナケレハ其職ヲ効スコト能ハス是教ト
政ト相須テ行ハル、所以ナリ今ヤ更始ノ時ニ方リ神武天
皇鴻業ヲ創造シ玉ヒ崇神天皇四方ヲ經營シ玉フ御偉績ニ
基カセラレ時ニ因リテ宜ヲ制シ大ニ变革更張被遊候処大
教ノ未タ浹合ナラサルヨリ民心一ツナラス其方向ニ惑フ
是宣教ノ急務ナル所以ナリ夫人ハ万物ノ靈神明最モ惠顧
シ玉フ所ノ者ナリ天孫皇太神ノ勅ヲ奉シ斯土ニ君臨シ之
ヲ撫字シ玉ヒシヨリ列皇相承亦皆太神ノ心ヲ以テ心ト為

シ玉ハサルハナシ然而大政ノ變更スル所アル者ハ世ニ古
今アリ時ニ汚隆アルヲ以テノコトニテ元ヨリ斯民ヲシテ
其心ヲ正クシ其職ヲ効シ以昏迷ヲ解キ終始仰テ依ル所ヲ
知ラシメント期シ玉フハ前聖後聖其揆一也故ニ大教ヲ宣
布スル者誠ニ能ク斯旨ヲ体認シ人情ヲ省テ之ヲ調攝シ風
俗ヲ察シテ之ヲ提擲シ之ヲシテ感発奮興シ神賦ノ智識ヲ
開キ人倫ノ大道ヲ明ニシ神明ヲ敬シ其惠顧ノ洪恩ニ負カ
ス聖朝愛撫ノ盛旨ヲ戴キ以テ維新ノ隆治ニ帰向セシムヘ
ク候是政教一致ノ御趣意ニ候事

○壬申十一月 日教部省ヨリ各宗管長教職へ説諭

一 杜寺トモ説教日限間々標札ニ違ヒ聴聞人迷惑ニ及ヒ候
向モ有之由向後標札ニ違ハサルハ勿論期日相改或ハ休
講候ハ、其旨兼テ標札ニ著シ可申事

一 神官之説教或ハ未熟ニテ徒ニ説教ノ下案ヲ読ミ或ハ誦
ム能ハサル人モ有之哉ノ趣キ不体裁ノ至ニ候向後屹度
右等ノ者ハ説教差止メ於教院篤ト教義講究有之度事
一 神官之説教或ハ一日ニ五六席ニ及ヒ候処モ有之聴聞人
退屈致シ候由向後二席或ハ三席ニテ可然候事

一 神官説教之内拝仏ノ意味往々有之由向後ハ教職心得書
ニ有之通り他宗ヲ誹斥不致様注意可有之事

一 神官之内中ニハ略体ニテ説教致シ候向モ有之哉ノ趣キ
教職心得ニ照準シ威儀ヲ正シ被申度事

一 説教者ノ内從來幽冥ニ事倚セ或ハ無根ノ怪説ヲ述ヘ候
弊モ有之遂ニハ三条ノ御趣意ニ離レ軍談トモ雜話トモ
名ケ難キ状向モ有之由不体裁ノ至ニ候向後屹度右様之
弊習相改メ正教ノ御趣意ニ相基キ候様有之度事

一 僧侶ノ内説教ニハ公席ニテ三条ヲ略シ解キ私席ニ於説
法談義法談ト唱ヘテ専ラ宗意ノミヲ弁シ三条ニ悖戻ス
ルノ宗意ハ絶テ不可用儀ニ付如此表裏有之テハ庶民疑
惑ヲ生シ候向後表裏無之様可有之事

一 僧侶從來神ハ仏ノ化身仏ハ神ノ本体ト固執シ或ハ神ハ
敬スヘキモノト立テ、却テ疎遠ニ説キ去リ敬神ノ論シ
方実着ニ不相成ノミナラス大ニ神体ヲ汚シ以テノ外ノ
事ニ候向後自反悔悟シ教導有之度事

一 寺院説教場ニ於テ堂塔宮築等ノ名目ヲ以テ勸財イタシ
候向モ有之哉ノ由以テノ外ノ事ニテ向後決テ有之間敷
事ニ候左モ無之テハ瑣細ノ事ヲ以テ教法宣布ノ路ヲ壅

閉ス能々注意有之度事

但賽錢法礼ハ此限ニ非ス然レトモ我ヨリ催スヘカラス
右之条々一同厚ク注意シ心得違無之様可被致事

壬申四月二十八日教部省ヨリ教導職ヘ達

教則

第一条

一敬神愛国ノ旨ヲ体スヘキ事

第二条

一天理人道ヲ明ニスヘキ事

第三条

一皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守セシムヘキ事

右ノ三条兼テ之ヲ奉体シ説教等ノ節ハ尚能注意致シ御趣
意ニ不悖様厚相心得可申候事

三条歌

敬神愛国

国神成^シ万物、神国育^ス斯躬^ヲ、若識^{ラハ}這般意^ノ、可^シ無^ク敬愛衷^ヲ、
葦原ノヲ蔭ヨロコベムヲ雀

天理人道

既有^ル天然^ノ則^リ、彝倫不^レ可^ク無^ク、人^ノ生請^フ看取^{セヨ}、黄鳥止^ル丘
隅^ニ、

ウクイスモ知ルヤ其身ノヲキトコロ

戴皇遵旨

暗^ニ知^ル天運^ヲ到^リ、聖主使^シ民^ヲ新^ク、此有^ル惠風^ヲ起^ル、方無^ク楊柳^ノ
颯^ム、

氣ニ入ラヌ風モワスレテ柳カナ

三条易知

敬神愛国

神明ハ、コレ万物ヲ造化シ国ヲ開キ国ヲ護リ玉ヘハ、
人々其恩徳ノ罔極ヲ常ニヨク至誠敬信シ、時ニ臨テ祭祀
ヲ奉シ、事々物々皆正直ヲ本トスヘシ。若私欲ノ為ニコ
レニ諂ヒ事ヘハ、其褻レ黷スノ罪畏ルヘシ。国土ハモト
神明ノコレヲ開キコレヲマモリ、其皇統タル主上ノ臨御
シ玉ヘル境ナレハ、コレヲ陳カニスヘカラサルハ云フモ
サラナリ。既ニコレ現ニ我身ヲ寄セ、我カ眷屬子孫ノ止
マル処ナレハ、イヨクコレヲ親愛護持セサルヘケンヤ。

其愛スルノ様ハ、人々各自ノ職業ヲ励ミ国ヲ富マシ、兵ヲ強クシテ他ノ万国ノ侮リヲ受ケス、天カ下無事安穩ナランコトヲ要スルニ在リ。

天理人道

善惡禍福、其条理自然ニ分明ナルヲ天理ト云フ。其天理ニ順シテ惡ヲヤメ善ニ進ミ、仁義礼智孝悌忠信ヲ以五倫ヲ修ルヲ人道ト云ナリ。カクノ如クヨク天人ノ際ヲアキラムレハ、敬神愛國ノ情モモノウカラス、戴皇遵旨ノ事モオノツカラ勇マシカルヘシ。

戴皇遵旨

我カ君上ハモト神胤ニシテ、他ノ王ニ異リ、天下万民ノ父母トシテ、万機ニ宸衿ヲナヤマシ玉ヒ、殊ニ一新復古ノ事々皆臣民ヲ保安セントノ故ナレハ、万姓其レコレヲ戴キタテマツラサルヘケンヤ。ステニヨク皇上ヲイタ、キ奉ラハ、其勅令シ玉フ所ノ旨趣、一々コレニ遵ヒ之ヲ守リ奉ルヘキナリ。

右ハ一ノ檀越アリ、三条遵奉ノ余リコレヲ書シテ壁軸ニセント請フ。因テ其意ヲ各条ノ下ニ略示シテ、以コレニ与フ。

三条略説

三条ノ中、其事六種アリ。各ニツツ、一聯トナス故、六事カ三条トナル也。三条ノ中、初ノ二条ヲ以第三条ヲ立上ルノカ今日ノ急要ナリ。其ワケハ、皇上ハ神ノ御跡ヲ繼セラルレハ、神ヲ敬スル者ハ必皇上ヲ戴クヘキコトナリ。皇上ハ国土ノ主ナレハ、国ヲ愛スル者ハ必皇上ヲ戴クヘキコトナリ。是故ニ、先第一条ニ神ヲ敬シ国ヲ愛スルコトヲ論シテ、之レヲ第三条ヘ押シ向ケル也。又天理ヲ知り、人道ニ明カナルトキハ、五倫ニ於君臣父子ノ道尤大切ナリ。臣民タル者、皇上ノ君ヲ戴カスハアルヘカラス。且又君ハ民ノ父母ナレハ、民タル身ハ其子ノ如クナレハ、孝子ノ父母ニ事フルカ如クニ其君ヲ戴クヘキ也。又天理ノ生々化々キハマリナキ理ハリヲ知レハ、今日ノ一新ノ御政ヲナシ玉フ日新變化ノ事モ、実ニモト思ヒ知ラレテ、有カタク戴カル、也。

第一条 敬神トハ、神ノ言ハ汎ク諸神ニ通スレトモ、今ハ天照太神ヲ指スナリ。太神ハ開國ノ主ニシテ、天下ノ本廟ナルカ故也。是故ニ余神有トイヘトモ皆太神ノ徳ニ

撰婦シテ、唯太神ヲ以所敬ノ神体トスルナリ。但シ其余ノ神トイヘトモ、其所々ニ鎮座シテウブスナ神トスルカ如キハ、其相応ノ敬祭ヲ致シ、其余ノ諸神モ疎ソカニセサル程ノ敬ハ勿論、又其時処ニ臨テ随宜ノ敬アルヘシ。唯其始終ニ敬礼スヘキハ独り天照太神ト知ルヘシ。此太神ヲ以開國ノ主トスルコトハ、諾冉ノ二尊、天ノ地間ノ万物ヲ大成シテ、其天地間ノ事ヲツカサトル君ヲ生ントテ太神ヲ生シテコレヲ其君ト定メ玉ヒタル故ニ、之レヲ開國ノ主ト云ナリ。既ニ開國ノ祖神ニシテ社廟ヲ構ヘ國家ヲ鎮護シ玉ヒテ、歷代ノ皇上モ且暮ニ怠リナク、敬神ノ叡慮ヲ尽シ玉ヘルナレハ、皇國ノ民トシテ其神恩ヲ思ヒ、其王法ニ順シテ之ヲ敬礼セスハアルヘカラス。愛國トハ、國ト云フ言モ汎ク万国ニ通スレトモ、今ハ皇國ヲ指ス。皇國ノ一天下、君民万物アワセテ國ト云ナリ。此國ハ我身ノ現ニ居スル所ニシテ、而我カ敬フ所ノ神ノ開キ神ノ鎮座シ玉ヒ、又我戴ク所ノ皇上ノ御シ玉ヘル國ナレハ、愛セスハアルヘカラサル者ナリ。サレハコレヲ親ミ愛シ大切ニ存シテ、天下泰平ニヨク治マリテ乱レズ、富國強兵ナレカシト愛念シテ、面々ニ己カ職業ニ身心ヲ

尽シテ万事乏シカラサルヤウニ致シテ、御上朝廷ノ御用ニモソナハルコトニナレハ、コレ其愛國ノ忠誠ト云ヘキ也。体スヘキ事トハ、体ハ体会体認ニシテ、篤トヨク合点シ解トル気味ナリ。

第二条 天理人道ヲ明カニストハ、明カトハ明了明淨ノ義ニシテ、我カ心ニヨク知り得ルヲ明了ト云、其ヨグレヲ去テハツキリトナラシムルヲ明淨ト云。君臣等ノ道ノ乱レテアリシヲ正シテ人ニ知ラシムルハ明淨ナリ。天理人道トハ、天地人ノ三才ハ一具ノ者ナリ。今ハ天ト人トノ二ヲ一聯トス。天ニハ改ムヘカラサルノ理ハリアリ。人ニハ変スヘカラサルノ道アリ。理トハ条理ニシテ其筋ナリ。道トハ依リ履ムノ義ナリ。天ニハ改メカヘラレヌ筋アリ。陰陽五行ノ氣有テ天然自然ニ万物ヲ生々化々スル等也。人ニハ変スヘカラサルノ道アリ。人トシテファミ行ナハネハナラヌ五倫五常ノ道ナリ。天ノ理モ人ノ道モ、皆永世変シカヘルコトノナラヌ者也。カヘ変セラレヌ理ヤ道ナレハ、人トシテ是非トモコレニハ順セネハナラヌ者ナリ。天ハ陰陽五行ノ氣、程ヨク相交リテ万物ヲ育ナフ。人ハ五倫五常、程ヨク相和シテ家モト、ノヒ國モ治

マル也。五倫ト云ハ倫ハ類也ト云テ、人ノ一身ニ於其向フ所ニ依テ五通りノ類カワカル、君臣ト父子ト夫婦ト長幼ト朋友トナリ。此五類ニ於常ニ仁義礼智信ノ五ツヲモチ込テ行ナヘハ、即コレ人道ナリ。一往配スレハ父子ハ仁、君臣ハ義、夫婦ハ礼、長幼ハ智、朋友ハ信ト云フ。

爾レトモ其実ハ、父子ノ際ニモ仁義礼智信ヲ用ヒ、君臣ノ際ニモ此五ヲ用ヒ、其余ノ三条モ皆然リ。五倫ハ機ノタテ糸ノ如ク、五常ハ其ヨコ糸ノ如ク、ヨコ糸ヲ以ヨクタテ糸ニアミツケレハ、好キ一段ノ絹トナル也。五倫ノタテニ五常ノヨコヲ織ツケレハ好キ親義別序信ノ人道ト云ハル、也。此人道ノ五常ヲ八天ノ五行ノ氣ニ配レハ、木ハ仁、火ハ礼、金ハ義、水ハ智、土ハ信ナリ。人道ハヨク天地ニ順スル者ナルカ故ニ、人ノ道ハ天ノ氣ニ合スルナリ。

第三条 皇上トハ今上皇帝ヲ指ス。皇ハ大也美也ト訓ス。上トハ君ト云カ如シ。一切臣民ノ上ニ立テルハ君也。コノ君ニハ大也美也ト云ヘキ徳マシマスカ故ニ皇上ト云ナリ。奉戴トハ、奉ハ大切ニ思ヒ大事ニスルノ意ナリ。戴ハ吾カ頂キニ戴クカ如クニ思フノ意、奉戴ノ文字ハ漢籍

ニモ有レトモ、皇典ニテハ神道五部書ニモ往々コレ有。

前ノ第二条ノ人道ノ中ニ、ハヤ君臣ノ道モ有レハ、今此条ニ於テ格別ニ君ヲ敬フコトヲ出サストモ然ルヘシト存スルニ、今コトサラニコレヲ出スハ云何ト云ニ、六七百年來天下ノ権柄臣下ニ移リテ、將軍ヲハ人々皆天下ノ君ノ如ク思ヘリ。コレ君臣ノ道ノ乱レタルナリ。爾ルニ今コレヲ引カエシテ、天子親カラ天下ノ政ヲ行ヒ玉フコトニナレリ。然レトモ至愚ナル者ハ其筋合モ知ラス、タ、慣レ來レルニ任テ、徒ニ従前ノ猥リニ認メシ所ヲノミ君ト思シ者モ有ヘキ故、今故サラニコレヲ論シテ眞実ノ君タル皇上ヲ戴ケトス、ムル者ナリ。朝旨トハ朝廷ノ思召ト云ホトノコトナレトモ、今ハ官ヨリ出シ玉フ御布告等ヲ朝旨ト云。遵守トハ、遵ハ遵承ニシテ大切ニシタカフコト也。守ハ我身ニカタクタモツコトナリ。朝廷ノ御布告御掟ニ於、租税等ノ事ニ就テハ、遵守シカタキ抔ト非議スル者モ或ハ有シナレトモ、是ハ不仁不智不義ノ至リ也。不仁トハ、農業ヲ以世ヲ渡ル者ノ如キハ本ヨリ多分ノ租ヲ出セリ。余職ノ者ハ多ハ税ヲモ出サシテ渡世セリ。今少シク出セル税ヲ恨テ農者ノ苦勞ヲ思ハサルハ不

仁ナリ。不智トハ、我カ所有ノ万物ハ本ト悉ク君王ノ所有ナリ。爾ルニコレヲ偏エニ我物ナリト思テ之ヲ吝メルハ不智ナルニ非ヤ。不義トハ、本ヨリ君王ノ養ヒヲ受テ其報謝ヲ思ハサルハ不義ナリ。且朝廷ニハ従前軍國ノ費エニ内外ノ債モ多分有ラセラルレハ、セメテ聊ソノ償ナヒヲ助ケ奉シカ為ノ税ナリトスレハ、喜ヒテ之ヲツトムヘシ。何ソコレヲ恨ムノ不義ナルヤ。此余ノ事々モ是ニ准シテセメ諭シテ、彼レカ妄謂ヲ遣ルヘシセシムヘキトハ、説教者ヨク其聴ク者ヲシテ右ノ如クナラシムル也。

三条略說畢

三条中説

謹按ルニ、方今維新ノ際ニ於万国ニ対峙シテ、億兆ヲ保安シ玉ハンカ為ニ、三条ヲ以、其民ヲ訓ユルノ大綱要領トシ玉フ也。先其三条ノ中、六事五徳アリ。六事トハ、神ト国ト天理ト人道ト皇上ト朝旨ト也。五徳トハ、敬ト愛ト明ト奉戴ト遵守ト也。此五ツハヨク三条ノ旨ヲ奉スル者ノ身上ニ在ル者ナル故ニ徳ト云。即コレ知ト行トノ

二徳ナリ。第二条ハ、智ヲ以ヨク天人ノ際ヲ明ラムルノ徳ナリ。前後ノ二条ハ、其能ク明ラムル所ヨリシテ、能ク古今ノ大道ヲ行フノ徳也。乃チ第一条ハ古来ノ常道也。第三条ハ、当今ノ王道也。古来ノ常道ヲ奉シテ我カ神我カ国ヲ敬愛スルハ、外万国ニ対シテ我カ国家ヲ保護スルノ仁ナリ。又当今ノ王道ヲ奉シテ、吾カ皇政ヲ戴キ守ルハ、内旧幕ニ対シテ吾カ朝廷ヲ尊崇スルノ勇也。故ニ三条併セ論スレハ知仁勇ノ三也。知仁勇ノ三八天下ノ達徳ニシテ、而モ三種神器ノ徳ニ符ヘル者也。ヨク億兆ノ民ヲシテ斯三徳ヲ成就セシメハ、天下ノ安固ナルコト富岳泰山ニ比スヘシ。故ニ今此三条ヲ以溥天ノ下率土ノ浜ニ布カシメテ、万姓齊シク其徳ヲ得セシメント也。三条ハ知ト行トノ二徳ニ約マリ、行ニ仁ト勇トヲ分テハ、即コレ三徳ナリ。而今仁ニ敬ト愛トヲ開キ、勇ニ奉戴遵守ノ二ヲ開クカ故ニ五徳アル也。然フシテ能ク万姓ヲシテ古今ノ大道ヲ行ヒ、外ハ万国ニ対峙シ、内ハ王政ニ回復シ玉ヘルコトヲ悦服セシメンニハ、先天理人道本然ノ道理ヲ知シメスンハアルヘカラス。人ヨク斯本然ノ道理ヲ明知スレハ、不識不知帝則ニ順フテ敬愛戴守ノ行ヒヲナ

サン。故ニ第二条ヲ以、成上起下ノ関節トナスヘキナリ。然フシテ三条六事、六事各二事一対ナル故ニ三条ヲ成ス。第一条ノ二事ハ、神ヨク国ヲ開闢シ、国ヨク神ヲ安置ス。第二条ノ二事ハ、天理ヨク人道ヲ成シ、人道ヨク天理ニ順ス。第三条ノ二事ハ、皇上ヨク朝旨ヲ制シ、朝旨ヨク皇上ヲ顕ス。如是ニ事各ヨク連属シテ三条ヲ成スル也。略シテ三条ノ文義ヲ解セハ、先第一条ノ中、敬神愛國トハ、礼記哀公問ニ、愛与^レ敬其政之本カト云ヘリ。先敬神トハ、敬ハ能敬ノ行ニシテ、恭敬敬慎等ノ謂也。神ハ所敬ノ事ニシテ、周易ニ陰陽不測コレヲ神ト曰フト云ヒ、又妙^{ニシテ}万物^ニ為^ス言者ナリト云ヘリ。其名体ヲ詳カニ明スコト、一條兼良公ノ纂疏等ノ如シ。能敬所敬アリトイヘトモ、今ハ神ヲ敬スルノ意ナレハ、神之敬ト云フ依主釈ニシテ、能敬ヲ取ル也。敬神ノ語ハ、礼記禮通ニ、致^レ敬於鬼神ト云ヒ、日本紀孝德紀ニ、奉神祇ト云ヒ、禁秘御鈔ニ官中之事先^ニ神事^ニ後^ニ他事^ニ、且暮敬神^ニ敬慮無^レ懈^ト怠^トト云テ、具サニ其状ヲ陳セリ。爾ルトキハ今敬神ヲ以、天下万民ニ勸メ玉ヘル者ハ、其君上ノ常ニ躬^ミカラ行ヒ玉ヘル所ヲ以テシ玉フ者也。固ト二令スル所、其行フ所ニ反スル者ニ非ス、民信セサルヘケンヤ。

今挙ル所ノ神トハ、惣シテハ諸神ニ通シ、別シテハ天照太神ヲ取ル。諸神ニ通スル所以ハ、朝廷許可シテ神祠ヲ建シメ玉ヒテ、神々体異リトイヘトモ、其不測ノ徳ハ一ナルカ故也。別シテ太神ヲ取ル所以ハ、朝廷コレヲ崇メテ本廟トシ玉ヒ、諸神ノ中ニ於、コレヲ以開國ノ主トスルカ故也。諸冉一尊ニ至テ国土ハ既ニ開ケタリトイヘトモ、未タ其土ヲ知コシメス君アラス、故ニカノ一尊天下ノ主ナカルヘケンヤト云テ、先太神ヲ玉玉ヘリ。故ニコレヲ天上ニ昇セ玉ヘトモ、猶コレ国土ノ主也。既ニ此國最初ノ君トナリ玉ヘル故ニ、爰ニ君臣父子仁義忠孝ノ基本ヲ立テ、宝祚無窮ノ國體ヲ開キ玉ヘリ。故ニ開國ノ主ト云ナリ。又一義ニハ、強チニ神ノ通別ヲ問ス、但太神是レ開國ノ主ナルカ故ニ、其前後ノ諸神、及其眷屬ノ諸神等ヲハ悉ク皇太神ノ一位ヘ撰婦シテ、一太神ヲ以テ今ノ所敬ノ神体トスルモ可ナラン。所敬ノ神体カクノ如シ。其能敬ノ状ヲ云ハ、敬三業ニ通スヘシ。身ニハ恭シク敬肅拜跪シ、口ニハ謹テ懸卷母忍^{カケマケカシコ}ノ辞ヲ唱へ、意ニハ慎テ正直至誠ノ信ヲ存スヘシ。礼記祭統ニ、誠信之謂^レ尽^{スト}之謂^レ敬^ト敬^ト尽^ト然後可^レ以事^レ神明^ト。信ナル誠ハ妙言、夫神ハ妙言不測ノ謂^レ敬^ト、然然後可^レ以事^レ神明^ト、信ナル誠ハ妙言、夫神ハ妙言不測ノ謂^レ敬^ト、然然後可^レ以事^レ神明^ト。若シ誠信ナラサレハ、是レコレヲ欺ク也。欺クトキハコレヲ慢トルナリ、何ゾ欺ト云ン。身口ニハ恭敬ノ相アリトモ、其心誠信ナラサレハ、即内外相應セス。コレ欺クノ至リ也。タ、是レ誠信ノ心ヨリ恭敬ノ身口ヲ發スルヲ、内外相應シテ業ノ力ヲ尽スト云。コ、ニ至リテ眞実ノ敬ヲ成スル也。カクノ如ク敬ノ情衰^レ尽^レキテ無^レ余^ニ至^レテ、方ニ能敬所敬^ト云ト莫合シテ、更ニハタテナキヲ神明ニ事フルコトヲ得ト云也。否ナルトキハ神明ニ事フトイヘトモ、神明コレヲ受玉ハサルナリ。サレハ眞実ノ能敬ハ誠信ヲ体トス。誠信トハ即正直ノ謂也。善ヲ善トシ惡ヲ惡トスル、コレ正直ノ誠也。善ト知ツ、コレヲ好マス、惡ト知ツ、コレヲステス、即コレ自欺ク者ニシテ、即神ヲ欺ク

也。神ノ正直ハ明鏡ノ善惡好醜ノ像ヲカケサルカ如キ者也。コ、ニ於、不正不直ノ三業ヲ以、正直明々ノ神ニ向テ禍ヲ除キ福ヲ求ントスル者、冥罰ヲソレサルヘケンヤ。

ト云ヘル是ナリ。然フシテ其能ク敬スル所以ンノ情アルトキハ、唯報恩ノ想ニ在ヘシ。王充カ論衡^祭ニ報功修先

ト云ヘル是也。報功ト修先トハコレニ事ナレトモ、若合テ云ヘハ、其先功ヲ忘レスシテ報謝ノ事ヲ修ムヘキ也。

国土ヲ開キ国体ヲ興シ国家ヲ鎮護シ玉ヘル等ノ洪恩、念報セサルヘケンヤ。斯ノ如ク至誠ニ念報スレハ、禍ヲ祓

ヒ福ヲ致ス、水月感応ノ理コ、ニ在ン。何ソ私心ヲ以、自己ノ現福ヲ邪求スルコトヲ用シヤ。但君父等ノ為ニ己

ムコトヲ得サルノ祈求アラハ、此レ報恩ノ事ヨリ起ル者ナレハ、遠ク神恩ノ報謝ニモ冥契セシ。愛國トハ、愛

ハ能愛ニシテ親愛愛惜ノ謂也。冬日ヲ呼テ愛日ト云カ如キハ、冬ハシキ日ト云。又孝子ハ愛日ト云カ如キハ、親ニ事ヘテ孝ナル者ハ分ツノ光陰ヲモ

タニセシトスルヲ愛日ト云。今ノ所謂愛ノ情致モ亦然リ。我カ邦國ヲ親シミイックシムコト寒時ニ暖ヲ慕フカ如ク、又國家ノ事ヲハ然リモムタナルコトナラ

シメシト惜ミ、他ノ為ニハイツクマデモ鞭ハレマシトヲシムヘキナリ。凡ソ我親シム所ノモノニハ、必損シ失フマシトヲシム意ハアル者ナリ。カクノ如ク親シムミラシム処即擁護ノ状ナレハ、今コノ愛ハ愛護ノ意トナシテ可ナラン。國ハ其

所愛ニシテ、即我カ皇國神國也。神國ノ名ハ、外國ニ對シテ唱フルノ称ナルコト、大和三教論ノ神國渾美章ニ云々スルカ如シ。可知。而今國ト云ハ、タ、山河田野等ノ疆域ノミヲ謂フニ非ス。コレ天下ノ惣称ニシテ、渾テ人民万物ヲ併テ國トスル也。愛國ノ語ハ、本ト漢紀ニ見ユ。宋ノ羅

仲素カ語^{性理大全}ニモ、愛^レ君如^レ愛^レ父愛^レ國如^レ愛^レ家愛^レ民如^レ愛^レ子ト云フ。温公ノ通鑑^{卷二}ニ、韓非カ事ヲ論スルニ、

愛^レ其^レ國^レ以及^レ人^レ之^レ國ト云ヘリ。殊ニ皇典ニ在テハ、日本紀^三持統天皇四年、帝博麻カ行迹ヲ嘉シ玉フ勅ニ、嘉^尊

朝愛^レ國^レ己^レ顯^レ忠^レトノ玉ヘリ。夫愛國ニ就テ、仏ノ平等ノ意、及君子ノ心ヲ以、コレヲ見ルトキハ、タトヒ他

ノ戒狄ノ國タリトモ、コレヲ憎ムコトナシ。楚王其良弓ヲ失人コレヲ失フテ楚人コレヲ得ト。孔子コレヲ評シテ曰、人コレヲ失フ爾レトモテ人コレヲ得ト云ヘシト。明ノ雲栖更ニコレヲ評シテ云云。竹窓隨筆

遠近親疎ノ別ナキニハ非ス。温公カ所謂愛^レ其^レ國^レ以及^レ人^レ之^レ國トハ是也。我カ父母ノ邦、我所住ノ國ニシテ其國

ヲ愛セサルハ、我身ヲ愛セサル者也。國必君アリ、其國ヲ愛セサルハ其君ヲ敬セサル者也。サレハ其身ヲ愛シ其

君ニ忠ナル者、其國ヲ愛セサルヘケンヤ。今我カ皇國ハ、神ノコレヲ開キ、神ノコレヲ鎮護シ玉ヒテ、其神胤タル

日嗣ノ君ノ知ロシメス所ナリ。神ヲ敬シ皇ヲ戴ク者、愛シテモ尚愛スヘキ者也。然フシテ徒ニ其愛スルノ情ノミ

ニシテ足ラス、必其愛スルノ実アルヘシ。顧フニ、其術他ナシ。唯是上下貴賤各自本分ノ業ヲ守ルノミ。故ニ臣

民ノ身ニ在テハ各自二人倫ヲ守テ其分ヲ失ハス、而其士

農工商等当然ノワサヲ励ミテ其家ヲ豊カニスヘシ。各自ニ其家豊カナレハ、朝廷一旦ノ不虞ニモ備フヘケレハ、即是富国強兵ノ謂ナリ。已上第一條中ノ二事ノ相状已レリ。旨トハ旨趣ナリ。

其敬ト愛トノ帰趣スル所ノ要ヲ謂フ。敬ハタ、一往拝跪ノ謂ニ非ス、愛モ亦一往愛憐ノ謂ニ非ス。至誠ノ敬、正直ノ神慮ニ契フヲ敬神ノ旨トシ、自業ノ務メ、国家ノ裨益ヲ成スヲ愛國ノ旨トスル也。斯ノ如キノ旨趣ヲ善ク体会認スヘシ。体会トハ通達ノ義ナリト唯識ノ疏ニモ釈セリ。其趣キヲ篤トヨク我身ニサトルヲ謂フ。又体二群臣一等ト云、体ノ義ニモ通シテ十分ニ我カ身上ノ事ト引受ルヲ云ナリ。

第二条 天理人道ノ二事、併セテコレ所明所知ナリ。明カニストハ能明能知ナリ。前來斯道理ニ暗カリシヲ、今方ニ明知スルヲ謂フ。然フシテ知ルノ難キニハ非ス、行フノ難キナレハ、知行合一ノ処ヲ真ノ知ルト云。爾レハ此明知ヨク前後ニ二条ニ所謂敬愛戴守ノ行ヒニ施シ顯ハスヲ要トスル也。天理人道トハ、易ノ繫辭下伝ニ、有二天道一焉有二人道一焉有二地道一焉ト云、朱子小学ノ序ニ、元亨利貞天道之常、仁義礼智人性之綱ト云ヘリ。大和三教論ニ、三種神器

ヲ論シテ曰、凡天地之理、人倫之道無出於三種外ト云云。天理トハ、其目礼ノ樂記ニ見ユ、管子等ニハ天地ノ理ト云テアリ。コレハタ、天地ノ陰陽消息變化ノ運ニ就テ謂ナラン。而地

ニ合セスシテ単ニ天理ト云ヘハ、二氣變化ノ運ニモ約スヘシ。亦天然自爾ノ条理ニモ就ヘシ。先ツ天トハ、且ク仏教ノ釈ニヨルニ、天台ノ法華ノ疏ニ、天ト者天然自然ナリト云ヘリ。其余更ニ勝光等ノ義アリ。コレ天趣ノ天ヲ釈スルニモ尚天然自然ノ義トス。彼天ニ生ル、モ、自然ニ化生シ、又自然ノ快樂アル等ノ故也。又珠林ニハ、顛也顯也等ノ訓ヲ出セリ。是ハ彼著ノ天ニ就テ謂フ者ナリ。凡ソ天ト云名ニ

ハ多義ノ別アレトモ、其惣シタル意ハ天然自然ノ義ナリ。其中別ノ天体ナクシテ唯自然ノ条理アルノミヲ天理トスルアリ。又別ノ天体有テ四王仞利彼蒼高天原等ト云、而其天ヨリ陰陽ノ氣ヲ垂テ地ノ氣ト和シ、寒熱冷暖互ニ變化シテヨク万物ヲ生育ス。此機運ノ自然ナル条理ヲ天理ト云。コレ氣上ニ理ヲ語ル者也。論語ニ、天何ヲカ言フヤ、四時行ナハレ百物生ルト云カ如キ、天ノ言フコトナキハ自然ノ謂也。而能ク四時變化シ百物生ルハ、自然ノ条理ニシテ、カノ天ノ天タル所以ナリ。然フシテ今コ、ノ天ヲハ別体アル天トスルノ義ニ就テ、其天ノ体ヲ定ム

ルニ、或ハ蒼々タル天トシ、或ハ高天原也トシ、或ハ天神天照太神ヲ直ニ天トス等、議論紛紜タリ。爾レトモ高天原ノ如キハ古來異説有テ、神代ノ皇都ヲ論シテ高天原ハ大和ノ国也ト決スルアリ。大和三教論等ノ説。然ルトキハ高天原ノ如キ、直チニ其名ニ就テ天理ヲ論スルハ、一ニ国典ニ媚テ膠柱偏局也ト非毀スル者アラン歟。今按スルニ、所謂天ハ是積氣也、故(三)神代卷ノ首ニハ、其清陽ナル者薄靡アガリテ而為_レ天ト云ヒ、又天照太神ヲ天ヘ送り玉フニハ、是時天地相去未_レ遠故以_二天柱_一挙_二於天上_一ト云ヘリ。サレハ高天原モ昇レル氣ノ積レル者ニシテ、下ヨリ廻カニコレヲ望メハ、夕、蒼々トシテ見ユ。何ナル妙境ナルヲ知ラス。而神ハ陰陽不測ノ妙体ナレハ、其清陽ノ靈氣ニ乗シテ逍遙シ玉ヘルナルヘシ。サレハ此蒼々タル高天原ノ清陽氣中ヨリ、陰陽不測ノ神明、万物ニ妙ナル徳ヲ以、自然ニコレヲ主宰シテ、生々化々シ玉フヲ天理ト云也。蒼天、天原、セテ一節ノ天トス。人道トハ、中庸ニ仁ハ人也ト云フ。仁ハ愛ノ理ニシテ而モ公然無私ノ徳也。コレ天ノ生々ノ徳ト合スル者ナリ。コノ徳ヲ以成セル者ヲ人ト云ナリ。故二人タル者、此徳ヲ明カニセスハアルヘカラス。人道トハ、人ノ人々

ル所以ノ道ヲ謂フノ也。天ノ天タル所以ノ理ヲ天理ト云ト一揆ナリ。道トハ依り履ムノ謂也。人ノ必依り履ムヘキ者ヲ人道ト云。即コレ五倫ノ際ヲ宜シフスルヲ謂フ。五倫ト云ハ、一人上ニ於、其所望ニ随フテ成スル者也。己カ身ヲ以、其父ニ望レハ己ハ子ナリ。子タルノ分ヲ守ルヘシ。又己カ子ニ望ルトキハ、己ハコレ父ナレハ、父タル道ヲ行フヘシ。又若己ヲ以君ニ望ルトキハ、己ハコレ臣ナレハ、臣タルノ分ヲ守ルヘシ。而已カ臣ニ望ルトキハ、己ハコレ君ナレハ、君タルノ道ヲ行フヘシ。君臣、父子、各其所望ニ随フテ信ヲ以仁義礼智ヲ行フヲ、其宜シキヲ得ト云フ。此余夫婦、兄弟、朋友ノ倫モ准シテ知ヘシ。一身上ニ於、其所對既ニ多類アレハ、其レノ宜シキニ随テ變化セسنハアルヘカラス。若一二凝滯シテ、我ハ父ナリト謂テ、其我カ父ニ對シテモ己カ子ヲ待カ如ナラハ、便ハチ父子ノ道破ル、ナリ。余モ亦准知スヘシ。アシシテサレハ人倫ハ其變化ヲ善クシテ宜キニ随フテ制セسنハ、仁義礼智アリトイヘトモ皆妄行ニ属スル也。故ニヨク前後左右ヲ顧ミテ、彼四時ノ變化、暑寒冷暖ノ凝滯ナキカ如ク、五倫ノ応接、仁義忠孝ノヨク通融スル

処ニテ、方ニ人道ヲ成スル也。コ、ニ於、其身修リ其家齊ナフ等ノ事、彼天道ノ百物生ル者ト一致ナリ。是故ニ天理ヨク人道ヲ成シ、人道ヨク天理ニ順スト云ナリ。当今維新ノ聖政、内ハ霸府ノ旧弊ニ対シ、外ハ万国ノ新交ニ対シ、其所対多端ナル故、其宜キニ随フテ凝滞ナク變通無方ニシテ、而モ大義ヲ失ハス、ヨク彼天理ニ順シテ人道ノ王制ヲ施シ玉フ。是故ニ万姓ヨク天理人道ノ際ヲ明知スレハ、君上ノ主宰シ玉フ所、即天神ノ主宰ト一探ナルコトヲ了シテ、敬愛戴守ノ行ヒモ欣々然トシテ勇進スレハ、生民各ノ身修マリ家齊フテ、終ニ国治マリ、天下平ナラン。天理人道ノ義、更ニ儒ニ就キ仏ニ約シテ論スヘキナレトモ、今姑ク略ヲ存ス。

第三条 此中セシムノ辞ハ能令ノ語トスレハ、説教者ハ能令ニシテ、聽者ノ奉戴遵守スルヲ所令トス。此義ニ拠レハ、此一条ハ説教者ノ化他ノ相ニシテ、前二条ハ其自行ノ相ナリ。能令ノ語ナキ故也。爾レトモ三条各皆自行化他ニ通スヘキナレハ、前後影略互顯シテ、三条トモニ自行化他ニ通スルノ義ヲ示シタルナルヘシ。一義ニハ前二条ハ自行ヲ主トシ、第三条ハ化他ヲ主トスルカ故ニト

云フ。爾レトモ三条ハ自他同ク然ルヘシ。主客ヲ見ルハ定テ不可ナラン。但シ方今説教ノ帰趣スル所ハ、前二条ヲ以第三条ヲ成スルニ在レハ、第三条ヲ主トスト云シモノ可ナリ。是レ三条ハ皆化他ノ法則ナル者トスル中ニテノ主也。第三条独リ化他ヲ主トスト云ハサルノミ。又一義ニハ、セシムトハ能令所令ノ謂ニハ非ス、タ、是レ助辞ノミ。和文ニハ本ヨリ此例多シ、可レ知。近クハ従前ノ通俗文ニ二筆令_二啓上_一ト云ヒ、又他ヨリ物ヲ受取ヲ_二合_一受納_一杯ト云カ如キ是ナリ。此義ニヨレハ、三条トモニ自他ノ別ナク、齊ク其三条ノ旨ヲ奉体シテ説聽スヘキノミ。三義アリトイヘトモ、今ノ正意、前二条ヲ把テ第三條ハモテコミテ説論スヘキニ在ルナルヘシ。此一条ノ中、皇上朝旨ハ所戴所守ノ事ナリ。奉戴遵守ハ万姓能戴能守ノ行徳也。孝経ノ聖治章ニ、是以其民畏而愛之之則_レ而象_レ之故能成_{シテ}其徳教_ヲ而行_ニ其政令_ト云ヘリ。畏而愛之トハ皇上奉戴ナリ。則而象之トハ朝旨遵守ナリ。万姓ヨク戴守ノ行ナヒヲ全フスルニ至レハ、君上ノ聖治コ、ニ成就セシ。之レカ為ニ、今此一条ヲ出シ玉ヘル也。皇上トハ皇即上ナリ、上ハ一人ノ君上ヲ云フ。君上ハ即天皇皇帝也。コレ其君上ノ徳号也。故ニ皇上ハ万姓ノ当今現ニ戴

ク所ノ主上ナリ。歷代ノ聖主皆然リトイヘトモ、各其現在ノ臣民ヨリ其御在位ノ君王ヲ指テ云。 朝旨トハ朝

廷ヨリ宣布シ玉フ所ノ御旨趣ナリ。即チ魏闕ニ掲ケ、或ハ在々所々ニ布告シ玉フ所ノ事々也。奉戴遵守トハ、奉ハ奉承ノ義ニシテ尊重スルノ意ナリ。戴ハ仏教ニ仏足頂礼ト云シカ如シ。遵ハ循也、率也。其事ノマ、ニ順ヒ、我身ヲハリコミテ従フノ意也。守ハ執持ノ謂ニシテ、不散不失ノ意ナリ。夫君上ノ威嚴、宣示ノ尊旨、民誰カ之ヲ戴守セザラン。爾ルニ、今殊ニコレヲ勸メ玉ヘルハ、民ニ向テ其威嚴尊旨ヲ示玉ヘルニ似タリ。コレヲ如何ト云ニ、コレ恐クハ面従腹非ノ者有シコトヲ慮リ玉フナラン。夫面従腹非ノ者アル所以ハ、内ニハ今新タニ霸府ノ権柄ヲ翻シ玉ヘハ、彼數百年來ノ旧政ニ馴ル、者、爰ニ皇上ヲ視ルコト、或ハ他ノ禪讓放伐ノ新主ヲ見ルカ如クセン。又外ニハ四方万国ト与ニ新タニ交際ヲナシテ、先帝攘夷ノ御志ヲ継キ給ハネハ、從來愛國ノ志有テ日本靈ト称セシ者ハ彼異教異物ノ羶氣ヲ嫌ヒ、我カ国体彼レニ因テ乱今日ノ朝旨一二彼レニ遵フ者ナランカト疑惧スル者アラン。是故ニ右ノ二類、已ムコトヲ得スシテ面従ストイヘトモ、猶腹非ヲ除クコトヲ得ス。今朝廷斯勢イヲ察シ玉

ヒテ、先ツ前二条ニ於其戴守セスハアルヘカラサルノ地ヲナシテ、而第三條ニ至テコレヲ顯露シテ、故ラニ之ヲ勸メ玉ヘルナルヘシ。野性伏テ以ミレハ、皇国ハコレ天祖大神ノ神勅ニ、是レ吾カ子孫可王之地也、宝祚之隆当与_ト天壤_ト無_ト窮_トト命シ玉ヘリ。爾ルニ霸府ノ權熾ンナリシヨリ、王室微々トシテ、君上_ト警_ト旒_トノ如ク然リ、豈神勅ノ旨ニ契ハンヤ。方今天運循環シテ、挽回時至レリ。故ニ今朝廷ノ大臣、古シエ天祖大神ノ天兒屋命等ニ命シテ天孫ヲ奉セシメテ君臣ノ道ヲ立玉ヒシカ如クニ、君上ヲ奉シテ万姓ヲシテ齊シク亦コレヲ戴カシムルノ令ヲ出シ玉ヘル者也。苟モヨク前二条ノ旨ヲ奉体スル者、神胤ノ皇上ヲ視ルコト革命ノ新主ヲ見ルカ如クスルコトヲ得ンヤ。若頑固ニシテ此旨ニ開化セスンハ、豈神皇国家ノ大罪人ニ非スヤ。抑又外国交際ノ義ハ、先帝攘夷ノ叡慮ニ戻レルニ似レトモ、其実ハ全ク一揆ナリ。何トナレハ交際攘夷ハ跡也。其御志ナルトキハ両帝トモニ唯億兆保安ニ在リ。攘夷シテ保安スヘクハ攘夷セン。講和シテ保安スヘクハ講和セン。先帝御宇ノ初ニハ攘夷スヘキノ勢イアリ。今上即位ノ今日ニハ講和スヘキノ勢イニ至ル。

攘夷、講和ノ跡ハ、トモニ已ムコトヲ得サルニ出テ、其好ミ玉ヘル所ニハ非ス。故ニタ、其勢イノ在ル所ニ任セテ、而其志シ玉ヘル所ハ、俱ニタ、億兆ヲ保安セントノ

大仁ニマシマセハ、其揆全ク一ナルニ非ヤ。サレハ両帝ノ叡慮同ク天祖ノ命シ玉ヘル可王ノ地ヲ治メテ、天攘無窮ノ計ヲナシ玉ヘル者也。苟モ前二条ノ旨ヲ奉体スル者、皇上ヲ戴カサルヘケンヤ。且外國ノ事物ヲ用ヒ玉ヘルモ、タ、是他ノ長ヲ取テ我カ短ヲ補フノミ。便ハチコレ愛國ノ実ナリ。サレハ一二彼レニ遵ヒ玉ヘルニハ非ス、其取ヘキハ取り、取ヘカラサルハ取ラス、唯其宜キヲ制シ玉フノミ。何ソ不可ナルノ朝旨有ンヤ。若頑固ニシテ、此旨ニ開化セスンハ、設イ愛國ノ志、日本靈ト称ストモ、却テ一己ノ妄認ニシテ、億兆保安ノ叡慮ヲ失スル罪人トナラン。之ヲ思ヘコレヲ思ヘ。

三条叢說卷之一

瑕丘
宗興著 三条叢說卷之二

三条広説第一

三条ノ妙旨ヲ窺ントスルニ、先玄義ヲ弁シ、后ニ正文ヲ

解スヘシ。三条ノ玄義、今義理ノ差別ニ從テ四門ヲ以テコレヲ詳セン。一二ハ来由、二ニハ体事、三ニハ宗趣、四ニハ互融。

○一二来由トハ、此三条ノ来レル所以ン三意アルヘシ。一二ハ為レ論ニ維新ノ旨故ニ、二ニハ為レ保安ニ億兆ノ故ニ、三ニハ為レ對峙万国ノ故。初ニ維新ノ旨ヲ論サンカ為トハ、方今一新開化ノ聖政ヲ施シ玉フハ、但コレ旧弊ヲ去リ、正道ヲ新タニセントシ玉フノミ。爾ルニ愚夫愚婦ノ類、動モスレハコレヲ妄認シテ謂ヘラク、方今ノ治徒ニ新規奇險ノ事ノミ草創シ、国体ヲシテ地ニ墜チ、万民ヲシテ塗炭ニ入シムル者也ト。乃チ巷議街談紛紜トシテ、面従服非ノ者モスクナカラサルニ似タリ。是故ニ今三条ヲ以天下万民ニ告示テ、皇上ノ尊慮、朝旨ノ所在、豈他ナランヤ。コレ神、コレ国、コレ天理、コレ人道、コレヲ以基本トシテ、コレヲ善巧ニ潤色シテ国ヲシテ豊カニ、民ヲシテ安カラシメントシ玉フニ過スト云コトヲ知シメ玉ハント也。コレ其三条ノ来ル所以ン一也。次ニ億兆ヲ保安センカ為トハ、君上ハ固ヨリ民ノ父母ナレハ、億兆ノ撫育ヲ以心トシ玉フニ論ナシ。爾リトイヘト

モ戸々ニ至リ、家々ニ就テ兼愛博施スルコトハ、所謂堯舜モ其レ猶病メル者ナレハ、今三条ノ訓ヘヲ以、人々ヲシテ天理人道ノ本分ヲ知り、神明ノ冥加ヲ思ヒ、愛國ノ実ヲ務メシメ、且ツ上皇上朝旨ノ倚頼スヘキ有テ、強者伏弱ノ患ヒナキコトヲ悦ビ、各自ノ業ニ安堵セハ、万民其安カラサランコトヲ欲ストモ其レ得ヘケンヤ。是レ其三条ノ来ル所以シノ二ナリ。後二万国ニ対峙センカ為トハ、夫天ノ時、地ノ利トイヘトモ、人ノ和ニ如カサルノ理ナリ。人々皆新政ノ辱キ旨ヲ了知シ、且ヨク保安ノ化ニ潤フテ、些毛離心ヲ抱カサルトキハ、一王ノ民皆ヨク一王ノ民タルコトヲ得。於是富国强兵ノ道立チ、万国ト対シ峙チテ無^レ所^レ復畏^ル。コノ故ニ万国対峙ノ術他ナシ。億兆保安ノ処ニ在リ、億兆保安ノ道ハ維新ノ辱キヲ了スルニ在リ。苟モヨク維新ノ尊旨本ト億兆保安ノ為ナルコトヲ知ラハ、誰カ欣欣然トシテ皇上ヲ輔ケテ万国ト峙立スルニ勇マサランヤ。是故ニ三条ハ国民ノ知行スル所ヲ訓フル者ナリトイヘトモ、便ハチコレ万国対峙ノ義ヲ具フルナリ。コレ其三条ノ来ル所以シノ三ナリ。

○二ニ体事トハ、即三条ノ教体ナリ。此三条ノ中、五德

六事アリ。六事ニ就テ五德ヲ成スル也。五德トハ敬愛明戴守ナリ。此五德東ヌレハ知行ノ二德ニシテ、其レヲ開ケハ、即三德也。三德トハ知仁勇ナリ。カクノ如キ開合ノ二三五ノ德、即コレ能知能行ナリ。六事トハ神國天人皇上朝旨ニシテ、コノ事ハ即コレ所知所行ナリ。先ツ知仁勇ノ三八中庸ニ天子ノ達徳ト称スル所ニシテ、皇國三種神器ノ德ニ符ヘル者也ト云ハ、事理ノ是非邪正ヲ分チ明ラムルナリ。鏡ノ正直ニ器臣邪正ノ影ヲ分ツカトシ。仁ト瓊ノ温潤ナリ。勇トハ劍ノ進退長ルニ似タリ。其知リ明ラムル所ニ於テ、私心ヲ離レテ^也進^也行^也フ也。今此三条ニ於、第二条ニ明カニスヘキト云ヘルハ、其知ナルコト知ルヘシ。而第一条ニ敬ト云ヒ愛ト云ヘルハコレ仁也。仁ハ愛ノ理ナリ。而敬ト愛トハ必相依ル、愛スレハ必敬シ、敬ハ其事ヲ大事ス切ニ思フ氣味。敬スレハ必愛スルカ故ナリ。後ノ第三条ニ奉戴遵守ト云ハコレ勇也。即コレ所謂義ヲ見テ勇メル者也。真宗ノ領解ノ辭ニ、一期ヲ限り守リマウスヘクト云ハ、其勇進ノ狀ナリ。斯ノ如クナルトキハ、三条ノ体ハ人々ヲシテ知行ヲ全フシ、三德ヲ成セシムルニ過ザル也。能知能行ノ体カクノ如シ。然フシテ其所知所行ノ事体ハ、三条ニ各二事ヲ具スルカ故ニ六事アル也。於^レ中第二条ノ天理人道ノ二事ハ其所知ナ

リ。前後二条ニ具セル四事ハ其所行也。然フシテ此六事即チ三对ニシテ、毎对ノ二事、其条理ノ相聯属セル者也。先第一条ノ二事、神ハ能開ニシテ、国ハ所開也。神明ヨク此国土ヲ開玉ヒシ故也。国土既ニ神明ノ開玉ヒシ者ナレハ、其国土ニハ慎テ神明ヲ安置シテコレヲ奉セスンハアルヘカラス。爾ルトキハ国ハ能奉也、神ハ所奉也。次ニ第二条ノ二事、天理ハ能成也、人道ハ所成也。人道ハ固ヨリ人々ノ私立ニ非ス。明々タル天理ヨリ成セル所ナレハ也。是故二人ノ行フ所、天理ニ順セスハアルヘカラス。爾ルトキハ人道ハ能順ニシテ、天理ハ所順也。後ニ第三条ノ二事、皇上ハ能制ナリ、朝旨ハ所制ナリ。朝旨ノ法令ハ、其制モト皇上ノ叡慮ニ出レハナリ。コノ故ニ叡慮ノ在ル所ハ、朝旨ヨリ顯ハル、ナレハ、亦是レ朝旨ハ能顯ニシテ、皇上ハ所顯也。カクノ如ク三条ノ六事、各順逆ニ能所ヲ具シテ其義全シ。問テ云、三条六事ノ別体ハ今其詳ヲ知ル。然フシテ此レヲ以説教ニ備ルトキハ、其惣ニ相ノ教体何者ソヤ。仏教トヤセン、神教トヤセン、将タ王法ノ政教トヤセン。若仏教トセハ、祠官ハコレヲ奈何ン。若神教トセハ、僧侶ハコレヲ奈何ン。又若王法

ノ政教ナルトキハ、祠官僧侶ノ關係スル所ニ非ルニ似タリ、云何ン。答フ、夫皇国ハ神胤ヲ以宇内ヲ統御シ玉ヘハ、神道ハコレ国ノ固有ナリ。而其神国ヲ佐ルニ儒仏ノ教ヲ以テスルコト、其来レルコト尚シ。三教鼎立シテ、未タ嘗テ偏立偏廢ノ跡アラス。コノ故ニ王法ノ政教ハコレ神教ヲ外ニセス、仏教ヲ外ニセス。爾ルトキハ政教神教ニ而不ニナリ。政教仏教ニ而不ニナリ。祠官ハ神教ヲ以テ政教ヲ輔クヘシ。僧侶ハ仏教ヲ以テ政教ヲ輔クヘシ。所以ニ祠官ニ在テハ、既ニ三条説教ノ大義ヲ述テ、神教要旨ト称シテ世ニ公行セリ。僧侶ノ三条ヲ宣ル、何ソコレヲ仏教要義ト称スルコトヲ憚ンヤ。若神教ハ本ヨリ皇国ノ教ニシテ而モ祭政一致ノ談アリ。且敬神ヲ以三条ノ最首ニ備フルカ故ニ神教ノ称允レリ。仏教ナルトキハ否ルカ故ニ仏教トハ称スヘカラスト云ハ、仏教ノ要、豈タ、竺土ノ光景ヲ説クモノナランヤ。広ク十方世界ニ互リテ幽顯ヲ窮メ、近ク人心ヲ淨メテ善惡ノ行ヲ勸誠シ、真俗ニ諦、世間出世ノ訓ヲ兼備セリ。王法ノ善政ニ於介爾毛齟齬スル所ナシ。且神ハコレ六事ノ隨一ナル而已、三条尽トク神事ナルニ非ス、何ソ独リ其一ヲ挙テ壅断ヲ

私センヤ。若コノ三条ヲ以唯コレ今日ノ王法ニシテ、仏教ヲ以弁解スヘカラサル者ト謂ヘル族ハ、其仏教ノ稱ヲ憚ルモ宜ヘナリ。苟モ三条六事ノ旨ニ於此モ滯滞ナク、仏教ヲ以コレヲ宣暢スルコトヲ得ハ、僧侶ノ三条ヲ視テコレヲ仏教トスルコト、何ソ彼神者ノ三条ヲ視テコレヲ神教トスルニ及ハサランヤ。問テ云、三条ノ教ハ本ト唯一箇ノ三条ナレハ、必ス定マレル一体アルヘシ、何ソ神者ハコレヲ説テ神教トシ、仏者ハコレヲ説テ仏教トシテ、別ニ一定ノ教体ナキヤ。答フ、凡ソ教体ヲ定ムルニ、能詮ノ声名句文ニ就テ論スルトキハ、其所説ノ事ハ種々アリトモ、其能説ノ人一ナル故ニ、種々ノ所説、其能説ニ隨テ、唯コレ一箇ノ声名句文ヲ体トス。若所詮ノ法義ニ就テ教体ヲ定ムルトキハ、種々ノ所説、其体何ソ一ナルコトヲ得ン。故ニヨク其法相ヲ看破シ、又ヨク其宗趣ヲ觀察シテ、以其教ノ分齊ヲ定ムヘシ。乃チ一經ヲ以論スルニモ、各師ノ所見ニ隨テ其判自然ニ異レリ。且ラク彼遺教經ノ如キ、慈恩等ハ視テ小乗教トシ、智昇等ハ視テ大乘教トスル等、一教異見定マレル教体ナシ。コレヲノ論ハ平常ノ茶飯ナレハ、今復煩ハシク言ハス。爾ルトキ

ハ今ノ三条ノ如キ、祠官ニシテコレヲ説教セハ、其説教ノ教体ハ神教ナルヘシ。僧侶ニシテコレヲ説教セハ、其説教ノ教体ハ仏教ナルヘシ。若余人ノ神仏ノ所屬ニ非ル者ニシテコレヲ説教スルトキハ、其説教ノ教体ハ、単ニ王法ノ政教トモ言フヘキ歟。サレハ三条ノ教体ハ各其説教者ノ分位ニ隨フテコレヲ定メテ足ルヘシ。何ソ必シモ一定ノ教体ナキコトヲ患シヤ。

○三ニ宗趣トハ、其言詮ノ主トスル所ヲ宗ト云フ。而又其宗ノ帰在スル所ヲ趣ト云ナリ。今此三条ノ中、義ニ隨テ互ニ宗トナリ趣トナル也。先第一条ヲ以、所歸ノ至要トスルトキハ、後ノ二条ハ宗ニシテ、第一条ハ趣ナリ。謂ク道德ノ大本ヲ知り、第二政令ノ教本ヲ尊フ第三所以ンハ、殊ニ其教令ノ流行第一ヲ期スルニ在ルカ故也。第一条ノ事ハ、教ノ流行ヲ見ハス者也。第二条ノ事ハ、教ノ大本ヲ知ル者ナリ。第三条ノ事ハ、教ヲ布クノ本ヲ尊フ者也。百川ノヨク洋々トシテ流レテ盛ンナルハ泉源有レハ也。第一条ハ衆流ノ如シ、後ノ二条ハ泉源ノ如シ。其中、第二条ハ水ノ地中ニ遍シ。又葉滴苔露ノ無辺ナルカ如キ者ナリ。第三条ハ遍地ノ水ノ一処ヲ得テコ、二湧出

シ、葉滴苔露ノ齊クコ、ニ墮在シ、聚リ合フテ匱シカラサルカ如キ者也。夫レ天理ノ大ナル、ヨク法界ニ遍シ、而是ヲ無辺ノ群類ニ賦キテ人道トス、コレ基本具ノ性也。然フシテ、ヨク此性ヲ調理シテ教源ヲ成ス者ハ君上ノ任ナリ。コノ故ニ中庸ニハ、天命之レヲ性ト曰フ、性ニ率フ、道トイフ第二條ノ事也。道ヲ修ル、コレヲ教トイフ第三條ノ事也。ト云ヘルハ是也。サレハ教ノヨク流行スルコトハ、必其本源アレハ也。是故ニ、第一条ニハ先近ク大教ノ流行スル状ヲ明シ、次テ後ノ二条ニハ浜リ、其本源ヲ尋ルコトヲ顕ス也。縦イ云何ナル教令ヲ施ストモ、行ハレスンハ何ノ益アラン。苟クモヨク大本ヲ知、教本ヲ尊コトヲ了セハ、其教ノ行ハル、ヤ必セリ。其教令ヨク行レテ、人々皆神ヲ敬シ、国ヲ愛スルニ至ラハ、凡百ノ流行言ヲ待スシテ知ヘシ。次ニハ若第二条ヲ以、所婦ノ要トスルトキハ、第一第三ノ二条ハ宗ニシテ、第二条ハコレ趣也。謂ク、教本ヲ崇メテ第三條其教ヲヨク流行セシムル第一條所以ンハ、人々ヲシテ道ノ大本ヲ知ラシメンカ第二條為ナル故ナリ。人若シ大本ヲ了知セサレハ瞽ニシテ行クカ如シ。必陥イル所有テ成ス所無カラン。第二条ハコレ智徳ニシ

テ、彼明眼ヲ開ク者ノ如シ。前後二条ハコレ行徳ニシテ、彼健歩スル者ノ如シ。敬愛戴守ノ行ヒハ他ノ事ニ非ス。即是レ自己本分ノ天理人道也ト知ラシムルヲ要トス。既ニヨク智眼ヲ自己本分ノ天理人道ニ開ケハ、何ソ我カ神ヲ棄、我カ国ヲ捨テ、他ノ神他ノ国ヲ敬愛スルノ邪徑ニ陥ランヤ。夫レ又何ソ皇上ヲ疎ミ朝旨ニ背テ、旧幕故政ニ因循スルノ頑固ニ止マランヤ。是故ニ三条ノ婦スル所ハ天理人道ノ本分ヲ明知セシムルニ在ル也。後二若第三条ヲ所婦ノ要トスルトキハ、第一第二ノ二条ハ宗ニシテ、第三条ハコレ趣也。謂ク、民ノヨク愛敬ノ事ヲ行ヒ第一條天理人道ノ際ヲ知ル第二條コトヲ訓ユル所以ンハ、其教ヲ布ケルノ本ヲ尊ハシメン第三條為ナルカ故也。夫迷方ノ人ハ其往ク所ノ聚落ノ所在ヲ失ス。所以ニ一人アリホウカガイ其迷方ノ人ノ為ニ指應シテ聚落ノ在ル所ヲ示ス。コ、ニ彼人其聚落ヲ認得テ喜テ曰、我カ正シク彼聚落ノ所在ヲ得レハ、一ニコレ其指示シ玉ヘルノ力ラ也ト。凡ソ民心ヲ正シフスルコトハ教化ノ指應ニ若クハナシ。人々其教示ニ依テ各自ノ知第一條行第一條スル所ヲ得レハ、必其教ノ出ル所ヲ尊フ。若教源ヲ輕ンスルトキハ、其馴ル所ノ知行モ自

ラ堅カラサルニ至ン。故ニ須ラク教源ヲ重ンセシムヘキ也。前來三重ヲ以、三条各互ニ宗トナリ趣トナルコトヲ論セリ。爾トモ方今ノ至要ハ殊ニ第三ニ在ン。云何トナレハ、皇上朝旨ハ一新ノ政教ヲ垂レ玉フノ本ナルカ故ニ、三条ノ帰趣スル所ハ第三条ナルヘシ。コ、ヲ以、第三重ノ宗趣ニ就テ、更ニ詳弁スヘシ。夫宗タル初ノ二条ハ旧來ノ常道也。趣タル第三条ハ現在ノ王政也。故ニ三条ノ序テハ旧來ノ常道ヲ躡ンテ現在ノ王政ヲ奉セシムル者也。凡ソ經權ノ二道アリ。經トハ常也。万代不易ノ事ナリ。權トハ變ナリ。機ニ臨ンテ變ニ応スル者也。ヨク常道ヲ守テ、而モヨク權變ニ応スヘキ也。守リナクシテ謾(漫)リニ變ニ從フトキハ、權モ亦弊トナル故ニ、ヨク變ニ応スル者ハ、必先其守ル所アル也。又成功ハ必事業ニヨル。事業ナクシテ成功アル者ハアラジ。初ノ二条ハ事業也。第三条ハ成功也。能事理ヲ弁ヘ知テ、而モヨクコレヲ行フヲ各自所修ノ事業トスレハ、オノツカラ能ク上ヲ戴テ、其法令ヲ守ルノ功用アルヘキ也。コノ故ニ大学ノ三綱八目ニ就テコレヲ配セハ、初二条ハ明德ナリ。第三条ハ新民也。而三条ニ通シテ皆至善ニ止ル者ナリ。又初ノ二条

ハ知行ノ二ニシテ、自ニ在テハ明德ナルヘシ。他ニ於スレハ新民ヲナルヘシ。而第三条ハ至善ニ止ル者ナルヘシ。若八目ヲ以コレヲ云ヘハ、第二条ハ格物致知ナリ。第一条ハ誠意正心修身ノ事ナリ。第三条ハ齊家治国平天下ノ事タルヘシ。三条ノ法義ノ当分ニ就テ弁スル者、カクノ如シ。若コレヲ以其所對ニ寄セテ論セハ、初ノ二条ハ外對^ニ万国ノ異道者也。第三条ハ内對^ニ中古ノ霸道者也。謂ク、外万国ニ對シテ我カ国華ヲ耀カサント欲ハ、我カ神明ノ道ヲ敬シ、我カ所住ノ国土ヲ愛シ、且其固有ノ国体タル天理人道ヲ弁ヘサルヘケンヤ。若ヨク万姓ヲシテ斯クノ如ク皇國ノ常道ヲ体認セシメハ、タトヒ彼レ我ヲ導クニ万般ノ異術ヲ以ストモ、我レ確乎トシテ渠カ為ニ傾動セラレサル也。如是ノ常道ヲ守ルコトハ、開闢已來今日ニ至テ其揆固ヨリ一ナレトモ、其政道ニ至テハ中古已來、國權霸府ニ移リテ王政若存若亡タリ。爾ルニ天運ノ循環王道、適^ニ淳興シテ一新ノ今日ニ至レリ。コレ殊ニ皇廷ニ就テ奉戴遵守ヲ勸ル所以ナリ。サレハ遵奉ヲ勸ル所以ンハ、強テ皇德ヲ術^テフテ然ルニハ非ス。君臣王霸ノ際ヲ示テ變革維新ノ旨ヲ顯ハサント也。先般ノ規

定ニ覇政ノ中ノ得失ヲ举措シ玉フノ条アリ。其得ナル者ハ挙用シ、其失ナル者ハ措置シテ中道ノ宜キヲ建ントナリ。真ニコレ王道ノ蕩々平々ナル者也。旧来ノ常道ヲ以万国ノ異道ニ対スル者ノ如キハ、若ハ王、若ハ覇、何レニ在テモ固ヨリ易フヘカラサル者、コレヲ挙用ヒ玉ヘルニ論ナシ。其時ニ臨テ制スル所ニ至テハ沼(汜)革一定ナシ。旧弊ヲ洗テ基本真ヲ顕ストキハ、復古即一新也。他ノ長ヲ取テ我カ短ヲ補フトキハ新規即一新也。一新ノ正意ハ唯コレ中道ノ宜キヲ得テ億兆ヲ保安シ玉ハンカ為ナレハ、人々ヨク其尊旨ヲ体シテ厚クコレヲ感戴スヘシ。是故ニ謾(漫)ニ一辺ヲ執テ、吾レヨク常道ヲ守ラハ足り、又変化ノ新政ハ直コレ面従ニ属スヘシト謂ヘル者ハ、善ク常道ヲ守ル者ニ非ス。常道ニ於、真ト弊トノ分ヲ知ラサルカ故也。所謂ル跡ヲ踐マス、亦室ニ入ラサル者也。一新ノ聖化ハ、常道^上ニ漸生セシ染習汚俗ノ旧弊ヲ正シテ、本真ノ常道ヲ成サント也。即コレ温故知新ノ旨ナリ。コノ意ヲ解セサル者ハ、タ、故ノ故タルコトヲ知テ、其コレヲ温^ウネテ新^{シン}キヲ知ルノ幽致ヲ悟ラサル也。サレハ維新ノ正意ハ常道ヲ正シフセントシ玉フ者ナレハ、

善ク旧来ノ常道ヲ守ント欲スル者ハ、須ラク維新ノ王政ニ帰シテ、其尊旨ノ辱ケナキヲ仰クヘシ。

○四ニ互融トハ、三条互ニ相融シテ、各其一ヲ挙げハ余ノ二ヲ撰スルナリ。而唯三条互ニ融撰スルノミナラス、六事五徳モ亦各互ニ融スル也。先惣シテ三条ノ互融ヲ論セハ、ヨク敬神愛國スルトキハ、即天理二契ヒ、人道ニ応ス。天理人道ノ本分ハ、正直ニ神ヲ敬シ忠誠ニ國ヲ愛スルノ外ナケレハ也。又皇上ノ尊慮、朝旨ノ在ル所ハ、固ヨリ敬神愛國セシメントノ趣キナレハ、ヨク敬愛スルニ至レハ、即皇ヲ戴キ朝旨ヲ守ル義ヲ成スル也。第一條ノト融スルコトカクノ如シ。又天理人道ヲ明ラムルハ、本ヨリ敬愛戴守ノ行ヒヲ成サシメンカ為ナレハ、善ク天理人道ヲ明ラムレハ、便^ズチ必愛敬戴守ノ行ヒニ至ルヘシ。コレ知行合一ノ真知也。第二條ノ余ノ二條ト融スルコトカクノコトシ。又帝心朝旨ノ在ル所ハ、即前二條ノト云ハン。故ニヨク神國ヲ敬愛シ、道本ヲ明知スルニ至テ、方ニヨク奉戴遵守スト云ヘシ。第三條ノ余ノ一條ト融スルコトカクノ如シ。右ノ三重ノ外、更ニ錯綜相望シテ六重ヲ成シ、終ニ九重ヲ得ナリ。カクノ如ク三条互ニ融撰スレハ、六事五徳ノ一一、

互ニ融撰スルコトモ亦復然リ。夫ヨク神ヲ敬スル者、国ヲ愛セサルヘケンヤ。我国ハコレ神ノ開闢シ玉フ所、神ノ鎮護シ玉フ所口、神胤ノ統御シ玉フ所ナレハ、其国ヲ蔑如スル者、何ソ神ヲ敬スト云ハン。故ニヨク国ヲ愛スルニ至テ、方ニヨク神ヲ敬スルコトヲ成ス。抑又国ヲ愛スル者、神ヲ敬セサルヘケンヤ。神明ノヨク国家ヲ鎮護シ玉フハ水月感応ノ処ニ在リ、人若邪心邪行ニシテ神明ヲ蔑如スレハ、神明韜晦シテ鎮護ノ益ナク、邪神横行シテ国安穩ナラス。サレハ国ノ安カランコトヲ望ム者、神ニ於誠信ノ敬ヲ尽サ、ルヘケンヤ。故ニヨク神ヲ敬スルニ至テ、方ニヨク国ヲ愛スルノ事ヲ成スル也。

第一条ノ二事ノ徳、互ニ融撰スルコトカクノ如シ。余ノ二条ノ中ノ事々モコレニ准シテ知ヘシ。各条ノ二事互ニ相望シテ六重アリ。更ニ条々ノ事々、更ニ互錯綜シテ重ヲ成セハ、若干ノ多重ヲ成スルコト、思テ知ヘシ。今其煩ヲ厭テ姑ク舍ク。孔子ノ曰、親ニ孝ナル者、忠君ニ移スヘシ等ト。コレ更ニ互融撰ノ意ノ存スル所ナリ。能ク善ク一行ヲ修ムル者ハ、亦ヨク余行ヲモ撰スヘシ。行々皆其誠信一ナレハナリ。コノ誠信モシ闕ケヌルトキハ、

縦ヒ一行ヲヨクスルニ似ルモ、其行亦善美ニ非ス。況ヤ余行ヲ撰センヤ。今此三条六事ノ行ヒ、一一皆全美ナランコトヲ欲スルカ故ニ、故ラニ互融ノ旨ヲ論ス。冀クハ妄知偽行ヲ離レテ真実誠信知行センコトヲ。

○後ニ正シク三条ノ文義ヲ解スルニ、於中ニアリ。一ニ先弁「文字ノ接応」、二ニ正ク解「各条ノ文義」。一ニ文字ノ接応トハ、神ト国ト天理ト人道ト皇上ト朝旨トノ六ハ所対ノ事也。敬ト愛ト明カニススト奉戴ト遵守トノ五ハ能対ノ事也。而前後二条ハ敬愛戴守ヲ以、神国皇旨ニ対シテ、復更ニ体スト云ヒ令シムト云ヘリ。第二条ハ独リタ、明カニススト云ヲ以、天ト人トノ二事ニ両関スルノミ。更ニ余辞無シ。爾ルニ第三条ノ令シムノ辞ハ、タ、説教者ヲ指麾スルノ言ニシテ、所対ノ事ニ関カルニ非ス。前二条体スト明カニスストハ、トモニ所対ノ事ニ係ルノ事ナリ。但第二条ノ明ハ本ヨリ正対ノ事ナリ。第一条ノ体ハ既ニ正対タル敬愛ノニアリ何ソ更ニ此事ヲ用ルヤ。今按スルニ、第一条ノ事ニ於二意アルヘシ。一ニハ、敬神愛国ノ二事ハ、本ト君王所任ノ事ナリ。而其君王所任ノ事ノ旨ニ体スルコトハ、万民ノ事ナリ。故ニ敬神愛国ノ旨

ハ所対ノ事ニシテ、体スノ一辞ハ能対ノ事ナリ。爾ルトキハ体ノ一辞ハ、第二条ノ明ノ辞ト牛角ニ並ビ立ツ者也。サレハ敬神愛国ハ、君王ノ躬カラナシ玉フ所ノ大事ニシテ、民ノ宜シク体認スヘキ所ナリ。天理人道ハ、生民ノ各マサニ知ルヘキ所ノ大義ニシテ、其宜シク明了スヘキ所ナリ。夫君王ノ敬神ト云ハ、禁秘鈔ニ敬神ノ叡慮旦暮無懈怠ト云ヒ、且天孫以来ノ神皇常ニ三種神器ニ奉事シ玉ヒ、神武帝以後ノ歴代往々ニ諸神ヲ祭祀シ玉フコト、国史ニ記セルカ如シ。又其愛国トハ、所謂天子ハ兼天下愛スト云是ナリ。且既ニコレ国ト云フ。サレハコレヲ愛スルコト下民ノ当分ニ非ス。宜ク国ヲ有ツ者ノ任トナスヘシ。天祖、曾テ此中国ヲ以、他人ニ属セスシテ吾子孫可王ノ地トノ玉ヘル者ハ、便ハチ神明ノ愛国ナリ。歴代ノ君王、其神明愛国ノ本意ヲ守リ玉ヘル、即チ君王ノ愛国也。神皇ノ敬神愛国ステニカクノ如クナレハ、其民タルモノ其神皇敬愛ノ御旨趣ヲ体認シテ、以各自ニ亦敬愛セスハアルヘカラサル也。二ニハ既ニヨク君王ノ敬愛シ玉ヘル旨ヲ体認スルトキハ、民生各自ニ其敬スヘク愛スヘキノ旨趣ヲ体会シテ、各自ニ其敬愛ノ事ヲ行フヘ

シ。右ノ二義ハ、宜ク俱存シテ、其一ヲ欠クヘカラサル者ナリ。サレハ常ニ前義ノ意ヲ躡ヘテ後義ノ意ヲ行フヘシ。但シ三条ヲ以六事五徳ト称セシカ如キハ、後義ノ意ヲ用ヒタルナリ。サレハ凡ソ余ノ弁解スル所、後義ヲ主トシテ前義ヲ掩含スルコト可_レ知_ル先。

第一条ニ就テ初ニ惣意ヲ弁セハ、敬神愛国トハ、敬ハ能敬、神ハ所敬ナリ。神之敬ト云愛ハ能愛、国ハ所愛ナリ。此レ亦国依主敬也旨ノ一字ハ此敬ト愛トノ二箇ノ行ニ通ス。旨ハ美也。

ト訓シ、ムマシト読也。右ノ二行ノ切要ナルムマキ味ヒヲ云フ。已上ハ所体也。而次ニ体スヘキトハ、其能体ヲ示ス也。サキノ敬ト愛トノ二行ノ旨ヲ我身ニ遍適シテ、己カ正シク行フヘキコトソト会得スル也。体ハ体会ノ義ニシテ、善クサトリテ我身ノ事ニ引受ルヲ謂フ。ヘキトハ応当ノ義ニシテ、其身ノ堪能スル所ニ就テコレヲ勸ルノ意ヲ存ス。已上ハ別シテ第一条ノ体相ヲ示ス也。後二事ノ一字ハ、惣シテ上ノ二行ノ旨ヲ以、第一条ノ事体トスルコトヲ結示スル也。次ニ別シテ敬神愛国ノ義趣ヲ弁セハ、先敬神ニ就テ其所敬ノ神ヲ弁スヘシ。此レニ就テニアリ。一ニハ惣シテ名体ヲ弁シ、二ニハ別シテ所指

惣テ世間ヲ説テ六道トシ、其下劣ナル鬼類ヲ餓鬼道トシ、殊勝神明ナル者ハ天道ニ撰ス。故ニ義楚六帖(一)靈靈衆部ニハ梵天帝釈四王等ノ諸天ヲ出セリ。長阿含經(二)二十(三)二ハ地水火風ノ神ヲハ四大天神ト説キ、同名(左)同生(右)ノ二神ヲハ無量壽經ニハ天神記識等ト云ヘリ。サレハ凡ソ幽界ニ在テ人身ヲ護シ、護國護法ノ善意ヲ存スル者ハ、皆是レ神明也トシテ敬畏敬礼スヘキ者也。今皇國ノ神ニ至テハ、其史書ノ中ニ於、惣シテハ八十万神八百万神ト云ヒ、別シテハ七五相承ノ神ヲ明シテ、其レニ類屬スル所モ亦若干多類アルコトヲ誌セリ。抑又我カ仏ノ如キハ、仏氏ニ在テハコレヲ神ト稱セサレトモ、若國典ニヨラハ守屋ノ党コレヲ藩神ト呼ヘリ。今且ク其呼称ニ從ヘハ、仏モ亦此神ノ名ニ撰スルコトヲ得ヘシ。問云、上來叙ル所、三教所説ノ神、其名相異リトイヘトモ、齊ク皆神ト名ク。於レ中凡鬼邪神ハコレヲ舍ク、其正大ノ神明ニ於、コレヲ神ト名ルコトハ、其体神身ニ在ヤ、將神心ニ在ヤ。答曰、其心本ト神妙ニ至レルカ故ニ、其身モ亦從フテ神妙ナリ。故ニ其神一人ノ身心、併テ神ト名ルコトヲ得ル也。先其心体ヲ神ト名ルコトハ、且ク無量壽經

ノ人道ヲ説ケル文ヲ按スルニ、一ニハ神明記識ト云ヒ、二ニハ神明更生ト云ヘリ。初ノ神明ハ天地ノ神祇ヲ指シ、後ノ神明ハ一切衆生ノ心識ヲ指ス也。一切衆生ノ心、事ニ就テ言ヘハ、各自ノ八識ニ不_レ過、理ニ就クトキハ真如ノ一心也。真如ノ一心ノ遍ク一切ニ互リテ所謂蠢々ノ心ヲ出サル者ナリ。衆生ヨク八識上ノ妄染ヲ掃テ、無垢ノ淨識ヲ成スルトキハ、真如靈妙ノ一心ト冥合スルコトヲ得ルナリ。八識妄染ノ位ヲ流転ノ迷トシ、八識清淨ノ位ヲ還滅ノ悟トスル也。衆生有漏雜染ヲ以昏夢ニ処スルトイヘトモ、其心性本ヨリ清淨ニシテ虛靈不昧ナレハ、一切凡聖各自ノ心識ヲ指テ神明ト云也。天神地祇ニ於、其位或ハ淺深アルヘシト云ヘトモ、分_レ二全_レ一_レ其心性ヲ淨メ玉ヘル者也。儒教ニハ此清淨ニ至レル位ヲ明_レ明德ノ聖賢トシ、釈教ニハコレヲ真理ヲ証得セル仏菩薩阿羅漢トス。即チ今神教ニ云所ノ神明ト其迹異リトイヘトモ、其清淨ニ至ルノ致ハ一ナル者也。正統記上(廿六)ニ云、三種ノ神器、中ニモ鏡ヲ本トシ、宗廟ノ正体ト仰カレ玉ヲ鏡ハ、明ヲカタチトセリ。心性明カナレハ慈悲決斷(卅)ハ其ウチニアリ。又正シク御影ヲウツシ玉ヒシカハ、フカキ

ト勅シ玉ヒケルコト、和光ノ御誓ヒモ顕レテ、殊更ニフ
カキ道アルヘケレハ、三所ニ勝劣ノ義ヲハ存スヘカラサ
ル者ナリト。サレハタトヒ天上ニ住シ玉フトモ、天下ノ
国土ヲ知シメサ、ルニハ非ス。故ニ其皇孫タル瓊々杵尊
ヲ降シ玉ヘル時ニ、先国土邪神多キヲ見玉ヒテ種々ニ神
慮ヲ勞シ玉ヒシコト、国史ニ記セルカ如シ。而正ク皇孫
ノ降り玉ヘルトキニハ、太神、皇孫ニ勅シ玉ヘルニハ、
葦原ノ千五百秋ノ瑞穂ノ国ハ我カ子孫ノ王タルヘキノ地
ナリ、宜ク汝皇孫就テ治ムヘシ。行矣宝祚之隆天壤ト窮
リナキ者ナリトテ、御手ニ宝鏡ヲ持玉ヒ、皇孫ニ授テ、
我兒此宝鏡ヲ視ルコトマサニ猶我ヲ視ルカ如クスヘシ。
与ニ床ヲ同フシ殿ヲ共ニシテ、以テ斎鏡トナスヘシトノ
玉テ、鏡ト玉ト劍トノ三種ノ神器ヲソロヘ、知仁勇ノ三
徳ヲ表シ、此三器ノ徳ヲ以、国土ヲ治ムヘシト懸コロニ
授玉ヘリ。サレハ太神ハ天上ニマシマストモ、其神体ヲ
宝鏡ニ託シ玉ヘハ、宝鏡即太神也。是故ニ上ハ諸冉ニ神
ノ天下ノ君タル者ヲ生サランヤノ神旨ニ答ヘ、下ハ皇孫
ニ託シ玉ヘルノ迹ヲ以スルトキハ、太神ハ開国ノ鼻祖タ
ルコト明ケシ。然フシテ其太神ノ神体タル宝鏡、皇孫ノ

同床共殿シ玉ヒシヨリ、神皇承ケ嗣テ第十代崇神天皇ノ
御代マテ同殿ニ安置シ玉ヘトモ、此天皇、神威ヲ憚リ玉
テ大和ノ国ニ別殿ヲ立テ、ソレニ安置シ玉ヘリ。其後第
十一代垂仁天皇ノ時、伊勢ノ度会郡五十鈴ノ宮ニ鎮座マ
シマス。今ノ内宮ト敬ヒ奉ルハ是ナリ。問曰、開国トハ
国土ヲ開玉ヘルノ意ナリヤ、将国体ヲ開キ玉ヘルノ意ナ
リヤ。答、二意ニ通スヘシ。国土ノ開闢ハ本ト諾冉ノ二
神ニ在トイヘトモ、功ヲ太神ニ推リテ国土ノ主タラシメ
玉フトキハ、国土ヲ開コト、便チ太神ニ属スル也。上ニ
神ノ尊旨ニ順シテ国土ノ主トナリ玉フハ父子ノ親ニシテ、
子ノ其親ニ事フルノ孝ナリ。下モ皇孫ヲ呼テ我兒ト称シ
テ授ケ玉フモ、亦父子ノ親ニシテ、父ノ其子ニ於ルノ慈
ナリ。於是父子ノ道顕レテ孝道ノ教ヘ立ツ。然フシテ
ヨク躬カラ天下ニ君タルノ道ヲ建テ、万神ヲ臣服セシメ
玉ヒ、又伴神ヲシテ皇孫ニ侍シ降テ、輔テ天下ヲ治シメ
玉ヘリ。於是君臣ノ道顕レテ忠義ノ教ヘ立ツ。苟モヨ
ク孝道ヲ全フスルトキハ、忠君ニ移スヘシ孝。夫婦ノ別、
兄弟ノ友、朋友ノ信モ、皆孝心ヨリ移シ成スヘシ。サレ
ハ太神ノナシ玉ヘル所、忠孝ノ基本ヲ立テ、倫常ノ国体

ヲ開玉ヘルコト明々タリ。是故ニ今ノ敬スル所ノ神ハ惣別ニ二途ノ神ニ通ス。惣シテ皆神ト称スルカ故ニ、又別德ニ約スルカ故ニ。然フシテ太神ノ別德ニ於、其系統一ナルカ故ニ前後ノ諸神ヲ撰シ、又与ニ但ニ開國ノ事務ヲ同フスルカ故ニ主伴ノ諸神ヲ該ス。前後主伴、齊ク皆太神ノ別德ニ撰歸スルトキハ一神即一切神ナレハ、今ノ所敬ハ直チニ唯天照太神ノミヲ指ト云モ可ナリ。惣別ニ途ノ德ヲ兼ルカ故也。問曰、皇國ノ神明ハ六趣ノ外ナリヤ。若コレヲ六趣ニ論スルトキハ何レノ趣ノ撰ソヤ。若鬼趣ノ撰ナリト云ハ、何ソ貶スルノ甚シキ。若コレヲ天趣ノ撰トセハ、天趣モ亦流転ノ迷境トス。即亦コレヲ褒スルノ意ニ非ス。何ソ心性ノ妙ヲ窮ムルノ神明トセン。答云、此義ニ至テハ我等愚凡ノ得テ知ル所ニ非ス。然リトイヘトモ、今且ク試ニコレヲ論セハ、古エ本迹ノ説アリ。今判然ノ勅アリ。謹テ按ルニ、本迹ノ説ハ我カ所尊ヲ以神明ニ配シ、極メテコレヲ奉崇スルノ意ナリ。蓋コレ跨節シテ高論スル者ニシテ、必シモ神仏同体ト云ニハ非ス。其体判然トシテ別ナレトモ、其利物ノ功其致一ナルヲ以、一体ノ義ヲ談シタルナルヘシ。尚書ニ善不同而同歸治

ト云ヘルハ即判然ニシテ、而モ其致一ナルノ謂ナリ。今趣撰ノ義ヲ論スルニ、仏教ニ於十界ヲ立テ、六凡四聖ノ義ヲ談スルナリ。天鬼ハ六凡ニ撰シ、声緣菩仏ヲ四聖トス。爾レトモ其趣ヲ論スルトキハ、唯仏ト二乘ノ無余減ニ入レル者トノミ六趣ノ外ナリ。有余減ノ二乘及十地ノ菩薩トイヘトモ、尚未タ人天ノ趣ヲ離レサル也。縦ヒ仏タリトモ、其応化ノ身ニ至テハ、猶人中ニ生スルコト、釈迦世尊ノ如シ。皇國ノ神明ノ如キ、其迹測リ難シトイヘトモ、其事相ニ就テ見レハ、諾冉ノ伉儷アリテ鶺鴒ノ為サニ倣ヘルカ如キハ人中ノ事ノ如シ。爾トモ洲島等ヲ生シ、眼中ヨリ産生シ玉フ等ノ事ニ至テハ、神怪不可思議ナル者也。爾ルトキハ何ソ敢テ六趣ノ内外ヲ定シ。若強テ趣撰ヲ論セハ、天降ノ神ハ天趣ナルニ論ナシ。人中ニ生レ玉ヘル神ハ、或ハ天種所生ナレハ天趣ナルヘシ。或ハ人趣ニシテ、而モ其神通自在ナルコト、仙ヲ得ル人、定ヲ得ル人ノ如クナル者ナラン。凡ソ六道ヲ以輪廻ノ迷境トスルコトハ、其實報ニ就テノ論ナリ。其生死ノ園、煩惱ノ林ニ遊戲シテ、神通變化ヲ示スコトハ趣外ニシテ、神妙不測ナル者モコレヲ捨ザル也。仏ノ無住涅槃ノ如キ

モ是也。夫七五ノ神明ヨリ八百万神正邪ノ神、コレヲ概論スルトキハ、汎ク天趣鬼趣等ニ通スヘシ。而天祖天孫等ノ大イニ天下ヲ饒益シ玉フカ如キ、何ソ劣趣ノ撰ナラシヤ。唯識論等ニ菩薩十王華報ノ説アリ。釈迦仏ノ補処タル弥勒ノ如キ、十地ノ極位ニ在テ、而モ兜率ノ天趣ニ入レリ。サレハ皇国正大ノ神明ヲハ、コレヲ天趣ノ撰トスルモ褒セサルニハ非ル也。況ヤ趣外不測ノ者ノ天地ノ間ニ遊戯シ玉フモ知ルヘカラサルヲヤ。人中ニ在テモ貴賤アリ、貧富アリ、君子アリ、小人アリ。宇宙小大ノ神ニ在テモ亦復然ルヘシ。其分ニ随テ其趣ヲ判スレハ、人天鬼畜等ノ撰ナカルヘケンヤ。爾レトモ富貴ノ人ニシテ時ニ無為ナルアリ。貧賤ノ人ニシテ、時ニ有用ナルアリ。貧賤ニシテ世ニ害アル者、固ヨリ論ヲ待タス、富貴ニシテ世ヲ利スル者、誠ニ天下之大幸ナリ。凡ソ神ト称スル者ニ在テモ、亦復カクノ如クナラン。悪鬼邪神ノ如キ、固ヨリ今ノ所敬ニ非ス。龍神ノ如キ、其報畜趣ニ在テ一時ヨク靈祭ニ応スル等ハ、亦所敬ノ神ニ備フヘシ。問曰、趣ノ所撰ヲ論セハ、又四生ノ所撰ヲモ論スヘシ。且ク天照大神ノ如キ何ノ生ノ撰ニヤ。再尊ノ産シ玉ヘル所トスレハ胎生ナルヘシ、諸尊ノ目ヲ洗ヒ玉ヘル時ノ所生トセハ湿生ナルヘシ、如何。又問、大神ハコレ女神ナリヤ、男神ナリヤ。古今ノ論紛紜タリ、何レヲ正トスルヤ。コレヲノ義、余処ニ別論スルカ如シ。

夫レ天祖太神ノ如キハ、祖述憲章集大成ノ功、天下ニ赫然トシテ、億兆ノ焜依所也。コレ即、正ク取テ所敬トスル所以也。系統ノ諸大神ノ如キハ、皆功ヲ天祖ニ推リテ無為ノ化ヲナシ、眷属ノ諸神等ハ臨時随分有用ノ功アリ、後代ノ人神等モ亦然リ。皆通シテ敬セスハアルヘカラサル者也。後ニ能敬ヲ明サハ、敬トハ字典ニ肅警恭慎ノ訓ヲ出セリ。而此能敬ニ就テ、敬相ト敬意トヲ弁スヘシ。先其敬相トハ、彼神ニ於云何方敬スルソナレハ、其敬スルノ状、凡ソ三類アルヘシ。一ニハ敬シテ遠サカルヲ敬トス。遠カルトハ疎外ニスルノ謂ニハ非ス、其褻黷センコトヲ恐ル、也。故ニ其祀ルヘキトキニ臨テ、齋戒清淨ニシテコレヲ敬祭シ、其余ニハ狎レ近ツカサルナリ。二ニハ常々ニ親近奉事スル者ハ、毎ニ身口意三業シテ敬アルヘシ。身ニハ拍手拝跪ノ礼ヲナシ、口ニ懸マクモ恐コキテフノ祝辞ヲ唱ヘ或ハアマツ神クニツ神ハラヒ意ニハ正直為本ノ慎ミヲナスヘシ。三ニハ世上ノ衆人常々ニ親近スルコトモナク、亦時ニ祭祀ノ事ニ関ルコトモナキ者、唯皇太神ノ尊崇スヘク、余神モ亦疎外ニスヘカラサルコトノミヲ知テ、或ハ祠前ヲ過、或ハ祭場ニ詣スル等ニ於ハ、直

低頭合掌ノ礼ヲナシ、而其意内ニ在テハ正直為本ノ神慮ヲ奉シテ、造次ニモコ、ニ於シ顛沛ニモコ、ニ於シ、タ、他ヲ欺カサルノミナラス、自ラ欺カサルノ誠意ヲ以、賭ザル聞ザル所ニ於敬慎恐懼シテ、其独リヲ慎ムナリ。次ニ敬意トハ、ヨク神ヲ敬スル所以ノ意云何ソナレハ、謂ク、其神恩ヲ報セシニコレヲ敬スル也。云何ナルカ是レ其神恩ナル。謂ク、一ニハ順理主宰ノ恩、二ニハ系統無窮ノ恩、三ニハ鎮護國家ノ恩也。此三恩ハ正ク天祖太神ニ在テ、而通シテ所余ノ諸神ヲモ撰スル也。一二順理主宰ノ恩トハ、凡ソ情有ル者、其冤誣ヲ恨マサルナク、其正直ニ伏セサルナシ。神明ハ本ト偏頗ノ私心ナク、タ、天理ノ公道ニ順フテ、正直ニ万物ヲ主宰シ玉フナリ。主宰トハ其事ヲ主トリテ宰割スルヲ謂フ。凡ソ人畜草木等ノ生々化々スル、皆天然ノ条理ヨリシテ然リ。人中ノ貧富貴賤、好醜智愚等モ亦皆天然ノ条理ヨリシテ然リ。然フシテ神明其天然ノ条理ニ順シテコレヲ主宰シ玉フコト、猶シ國王ノ天下ノ理ニ順シテ天下ノ万機ヲ主宰シ、天ノ時、地ノ利、人ノ和ニ依テ河ヲ濬フシ、田ヲ拓キ、乃至善ヲ賞シ、惡ヲ罰スル等ノ事ヲナシ玉フカ如シ。所

謂天理トハ空々無物ナルヲ謂フニ非ス。一切有情ノ善惡ノ業ト上ニ万物ノ生々化々、貧富好醜等ヲ成スヘキ天然ノ条理アリ。故ニ神明其善惡ノ天理ニ順シテ、毫モ差フコトナク生々化々シテ同業ノ有情ヲ利シ、黜陟ノ軌ヲ初生ニ示シ、勸懲ノ則ヲ終ニ身上ニ彰シ玉ヘル也。サレハ人々各自ニ天理ノ本ヲ返照シ、主宰ノ恩徳ヲ戴キ、正直ニ己カ守リヲ守リテ、將來ノ幸福ヲ俟ヘシ。二ニ系統無窮ノ恩トハ、凡ソ生ヲ皇國ノ天下ニ受ル者、其祖先ヨリ己身子孫ニ至マテ、タ、一王ノ沢ニ潤フコト、本ト開國ノ太神、其神裔ヲ以永ク其可王ノ地ニ王タラシメントノ神約ヲ垂玉フニ由ル。他ノ革命ノ國ノ如キ、傑出ノ者有リテ、互ニ鹿ヲ逐フ毎ニ、民皆塗炭ニ苦ム。太神預シメ斯事ヲ鑑ミテ、臣民非望ノ野心ナク、万髓固結シテ一王ニ倚頼スヘキノ国体ヲ立玉ヘルカ故ニ、万姓皆其所ヲ得テ、永世乱離ノ患ナキハ人身受生ノ第一福、コレ其神恩ノ致ス所ナリ。三ニ鎮護國家ノ恩トハ、夫レ在天ノ神明順理主宰ノ恩ヲ垂レ、往古ノ神約、系統無窮ノ徳ヲ施シ玉ヘル上エニ、更ニ近ク迹ヲ下土ノ今日ニ留トメ玉ヒテ、廟祠ヲ結構シ、天下ヲ鎮護シ、万姓ノ婦依処ト成

テ其安穩ヲ得セシメ玉フ。是レ開國太神ノ大仁ニ出テ、
其餘ノ万物ノ迹ヲ天下ニ留メテ各所ノ郷曲ヲ護レル者モ、
亦民人ノ安穩ヲ成シ玉ヘルノ恩也。三恩ノ義、今略シテ
之ヲ弁ス。更ニ余所ニ別詳スヘシ。問云、三条ノ中、敬
神ヲ以最首トスルハ何ノ意ソヤ。答云、周易ニ聖人以
神道設教ト云ヘリ。法苑珠林卅六十六ニ云、夫神道之
為レ化也蓋以抑レ夸強レ摧レ侮慢レ挫レ凶銳レ解レ塵紛レ等ト云
ヘリ。凡ソ不思議ノ境ニ対スルトキハ、人皆其角ヲ崩ス
カ如シ。故ニ人ヲシテ仰信セシムルハ、神道ヲ以、教ヲ
立ルニ如クハナシ。而躬親ヲ神道ニ服セスシテ空言教エ
ヲ設ルトキハ、タ、是民ヲ欺クノミ。故ニ我カ皇帝且暮
敬信ノ叡慮無レ懈怠禁秘。書ニ曰、君ハ神之主ニシテ、而
民之望也ト。又曰ク、紂慢レ神虐レ民皇天眷レ一德レ俾レ作レ神
主ト。四十華嚴ノ第十二ニ善財所遇ノ知識ノ中、甘露
火王ノ徳ヲ述ルニ曰ク、祠レ祭祖先レ思レ報レ恩徳レ教レ人孝
敬冥益万方祀祭之時一心專念恭敬無レ怠等ト云ヘリ。
コレ等ノ義ニヨルニ、敬神ヲ以最首トスルコト、其レ宜
ナル哉。問、今此敬神ハ祭祀ニ蒞ムノ敬ナリヤ、将尋常
ノ敬ナリヤ。答、礼記ニ、礼ニ有レ五經祭祭為レ重ト云ヘ

リ。而又祭ハ不レ欲レ數ト云ヘルハ、其狎レ黷サンコト
ヲ恐レテ也。孔子ノ敬而遠レト云ヘルハ是也。是レ其之
レヲ疎外ニスルノ謂ニハ非ス。是故ニ其祭ルニ当テハ、
預シメ數日ノ齋戒ヲナシテ三業ヲ淨メテ以其祭ニ臨ム也。
コレ敬スルノ至リ也。タ、卒然ニ神前ニ向テ拝跪祝辭ヲ
ナスヲ以、敬トスヘカラサルナリ。然フシテ其敬ヲ致シ
テ祭祀スル者ハ、尋常ノ敬モ亦嚴トノヘリ。事々物々ニ敬
慎恐懼シ、神ノ冥鑑ヲ畏レテ正直ノ心ヲ存スルナリ。神
武天皇ノ前ヨリ崇神天皇ノ初マテハ、天皇モ神ト同居シ
玉ヘハ、民モ亦其レニ准シタナルヘシ。崇神帝ヨリ以後
ハ、神ト皇ト別居シ玉ヘハ、民モ亦其レニ准シ来レリ。
離合トモニ皆是レ王法也。然ルニ当レ今上一世ニ復古シテ、
民戸ニ悉ク神牌ヲ安シテ且暮ニ敬礼セシメ玉フ。亦是今
日ノ王法也。夫下民ノ神ニ事ルコトハ、猶孝子ノ其父母
ニ事ルカ如クナルヘシ。父ハ君親ノ二徳ヲ兼レハ、敬愛
ノ二ツヲ以、事フヘキノ旨ヲ孝經ニ明セリ。神ハモト尊
高ニシテ、而モ万民ヲ生育シ玉ヘル者ナレハ、其神ニ事
フルノ民、敬ト愛トヲ並ヘ存スヘキ也。中世民戸ニ神ヲ
安セサルハ、其敬ヲ表スルニ抛リ、当今上古ニ復シテ、

コレヲ安置スル者ハ其愛ヲ表スルニ拠ル。神モト敬ト愛トノ二ヲ兼玉ヘハ、前後ノ王法各拠一義ニシテ、相違ノ制ニ非ル也。而今日ノ王法、神ニ親近スルノ制ナレハ、愚民ノ情コレニ狎レ慢ランコトヲ恐テ、最首ニ敬神ノ目ヲ標シテ愛中ニヨク敬ヲ存センコトヲ知シメ玉フ也。已上、最首ニ敬神ノ二字ヲ標スルハ、神ヲ奉ルハ設教ノ本ナルヲ表シ、敬ヲ奉ルハ民ノ繫繫ルノ意矣。問云、仏教ニ於、化身土文類所引ノ諸文ノ如キ、諸天鬼神ニ事フルコトヲ禁スル者多シ。然ルトキハ敬神ノ王法ヲ奉セントスレハ仏禁ニ違シ、不祀ノ仏説ヲ守ントスレハ王法ニ違ス。進退コレヲ奈何ン。答云、古人ノ曰不_レ以_レ辞害_レ意トハ信ナル哉。教文ノ上エ往々ニ言惣意別ノ者アリ。不可_レ不知。經ニ云トコロノ諸天鬼神モ今此条ノ敬神ノ神ノ言モ、本ヨリ正ナルアリ邪ナルアリ。惣テ人ト称スルニモ君子アリ、小人アルカ如シ。天ト云ヒ、神ト云ニモ、其邪正ヲ弁セスハアルヘカラス。夫入道ノ人ニ教ルニ、唯三宝ノミニ帰シテ諸天鬼神ニ事フルコトナカレト云ハ、一ニハ所謂天神トハ其邪ナル者ヲ簡フ。即彼外道所事ノ天神ナリ。是レ行者所修ノ妄境ヲ払フ者也。儒ニ小人損友ニ親ムコトヲ誠ルカ如シ。二ニハ縱使正ナル天神ニマレ、コ

レニ対シテ己カ現身ノ幻福ヲ祈ルヘカラス。是レ行者能修ノ妄執ヲ払フ也。儒ニ巧言令色ノ富貴ヲ舐ルヲ惡ムカ如シ。三ニハ行者能修ノ心ヲ一ニセンコトヲ要スル也。

儒ニ異端ヲ攻ルハ、コレ害ノミト云カ如シ。是故ニ彼凡鬼邪神ハ大道ヲ求ル者ノ固ヨリ事フル所ニ非ス。タトイ聖天正神ニ向フモ、若誤テ現前ノ禍福ノ為ニセハ、其修道ヲ妨ルコト大ナリ。是故ニ唯偏ニ三宝ニ帰セシメテ、其余ニ奔ラシメサル也。爾ルトキハ其向フ所既ニ正大ノ神明ニシテ、而モ私心ノ禍福ノ為ニセス、但是其恩德ヲ念ヒテ、之レカ報謝ノ敬礼ヲナス者、彼邪ニ事ヘテ妄ニ求者ト誠ニ天淵ナリ。サレハコレヲ誠ルモ在_レ茲、コレヲ勸ルモ在_レ茲。各其拠ル所アリ。毫毛齟齬スル所ナシ。問曰、淨土教ニ於正雜ノ二行ヲ判スルニ_集、凡ソ弥陀仏ニ関ラサル其余ノ仏神等ヲ称礼讚供スルヲハ、皆雜行ト名テコレヲ嫌ヘリ。爾ルトキハ一向專修ノ徒ハ、敬神ノ義安シカ在ル。答、正雜ニ行ノ判ハ進ンテ往生ノ業事ヲ論スル者也。於是ハ本ヨリ仏教所尊ノ三宝ニ於テスラ之ヲ取捨ス。何啻天神ノミナランヤ。然フシテ退テ一身當分ノ経営ヲ論スレハ、世間出世、真諦俗諦一モ妨ル所ナ

シ。云何トナレハ、一向專修ノ徒トイヘトモ頑石ノ孤立ニ非ス。所謂我匏瓜ナラヤリテ 豈繫而不食者ナリ。其幻身ヲ論スレハ、士農工商ハ本ヨリ国家ノ民ナリ。出家ノ者トイヘトモ王ノ土ヲフミ王土ノ水ヲノミテ、同ク王家ノ民也。

現身ナクンハ已ナン。苟モ現身存スレハ、其一身上ノ随分ノ業ハ在家出家、士農工商、皆応ニ随テ経営スヘシ。

是其一身上ノ当分也。一身当分ノ業行ハ些モ往生ノ業因ニ擬セス、往生ノ心行ハ唯一心五行ノミ。内ニ一心五行ヲ貯ヘテ往生ヲ失セス、外ニ一身当分ヲ守テ王法ニ背カス、内外身心其宜シキヲ得ル者也。弥陀ノ報土ヲネカフ人、外儀ノスカタハコトナリト、本願名号信受シテ、寤寐ニワスル、コトナカレトハ斯之謂也。是故ニ敬神ノ王法ヲ守ルハ、是レ一身上ノ当分ニシテ、他力領解家ノ常則也。故ニ其後人間ノアリサマニ任セテ世ヲスコシト云ヘルモ是レ也。然フシテ安心決定上ノ世法ハ世法ニシテ、亦是レ仏法也。故ニ法華ニ、俗間ノ經書治世ノ語言資生業等皆順正法ト云ヘリ。サレハ世法ニ忘機シテ、更ニ往生ノ業事ニ擬セス。タ、其形骸ノ当分ニ任テ、而モ一心ノ正行ヲ失ナハサルヘシ。若誤テコレテ往生ノ業事

ニ擬セハ、即雜行ノ嫌ヒヲ受ク。雜行ノ嫌ヒヲ恐テ一身当分ノ敬神ヲ欠カハ、罪ヲ王法ニ得ン。身心内外ノ分、慎シマスンハアルヘカラス。抑又一向專修ノ徒、タ、一身当分ノ神恩ヲ思フノミナラス、往生ノ業事ヲ弁スルモ、亦神恩ノ護持ニ縁テ聞名信喜ノ域ニ至ルコトヲ得タリト知レハ、之レカ為ニ敬神報謝ノ念ナクンハアルヘカラス。況ヤ冥衆護持ノ益ヲ慶フ者ヲヤ。カクノ如クナルトキハ、但是レ報謝ノ経営ニシテ、忠臣ノ君后ニ任ヘ、孝子ノ父母ニ事ルカ如キ者ニシテ、其至誠些モ擬シ求ル所ナケレハ、終日敬神スレトモ、曾テ正行海ヲ出サル者也。何ノ雜行ナルコトカコレ有ンヤ。

○次ニ愛國ヲ弁セハ、愛國ノ熟語ハ、晋書劉頌ニモ上下一心愛國如家ト云ヘリ。又尸子ニハ、匹夫愛其宅、不愛其隣、諸侯愛其國、不愛其敵、天子兼天下而愛之大也。此中ノ愛國ハ今今ノ所謂愛國ハ、今又云愛天。即于此レナリ。ト云。下者傳賢。夫愛國トハ、愛國相ヲ弁セハ此レニアリ。一二ハ直チニ今ノ所指ヲ簡括シ、二ニハ汎ク体性分齊ヲ弁セン。先今ノ所指トハ、此レハ家ト天下トニ対スル國ニハ非ス。

大學ニ齊家治國平天下ト云ヘル國トハ、或ハ

天子ノ畿内ヲ指シ、
或ハ諸侯ノ国ナリ。
國即天下也、即コレ皇國ノ一天下ヲ指ス。

直惣相ニ万邦ノ國ヲ取ルニハ非ス。上ニ挙ル敬神ノ神ハ
國神ヲ指故、今此ノ國モ亦其國神所開ノ國ヲ謂フナリ。

貝原ノ自娛集ニ皇國ノ七美ヲ論シ、武田大ノ三教論ニハ
神國淳美ノ篇アリ。次ニ其分齊トハ、有情ニ就テ依報正
報ヲ論スレハ、国土ハ是レ其依報也。即山川田野屋宅等
也。爾ルニ今コ、ニ取所ハ、タ、其山川田野等ノ腴美ヲ

愛スト云ニハ非ス。域中所有ノ有情非情一切并セテ國ト
云ナリ。安樂世界十七種ノ国土莊嚴、有情非情
ニ通スルコト、淨土論ニ説カ如シ。一木一獸等ヲ挙テ山

トハ名ケサレトモ、山ト云ヘハ草木禽獸等合セテ皆山ト
称スルカ如シ。是故ニ古ニ謂ク、食ハ民ノ本ナリ。民ハ
國ノ本ナリ。國ハ君ノ本也ト。故ニ君ハ國ヲ以本トシ、
國ハ民ヲ以本トシ、民ハ食ヲ以本トスル也。食ナケレハ
民不立、民ナケレハ國不立、國ナケレハ君不立也。

故ニ人君ハ國ヲ重ンス。而國ノ國タル所以ンハ民食アル
カ故ナリ。土地ヨク五穀ヲ生シテ民ヲ食ナフ、民ヨク五
穀ヲ作テ君上ヲ食ナフ。故ニ人君若民ノ農桑ヲ妨ルトキ
ハ、民瘁テ食足ラサル也。國ノ國タル所以コ、ニ亡フ。
故ニ礼記ニ無三年之畜、國非其國也ト云ヘリ。サレハ

國ノ國ト名ル所以ンハ、其經界中所有ノ有情非情ヲ并セ

テ國トスル也。尹文子ニ曰、凡國之將、存亡有六徵、

有衰國、有亂國、有亡國、有昌國、有強國、有治國、云

云。コレハ其朝廷政道ノ是非ニ就テ存亡ヲ論シタルモノ
也。其政道ノ非ナル者ノ淺深ニ就テ衰亂亡ノ三國トシ、其

政道ノ是ナル者ノ次第ニ由テ昌強治ノ三國トセリ。此レ
其山川田野等ノ事ニ関ラスシテ、タ、其國ヲ治理スル者

ニ属シテ國ヲ論シタル也。サレハ國ト云ハ、コレヲ領シ
テ治理スル者ノ關係スル所ヲ惣シテ呼テ國トス。故ニ或
ハ朝トモ名ル也。古來三國ヲ呼テ三朝ト云カ如キ是也。

或ハ六朝ト云ヒ、南朝
等ト云モ、亦シカリ。爾レトモ若別シテ其事体ヲ論スルトキハ、
君民万物ヲ合セテ國トスル也。家ヲ愛スト云ヘル、家モヒトエニタ、
其室屋ノミヲ云ニハ非ルガ如シ。

次ニ能愛ノ相ヲ弁セハ、今此愛ハ貪愛、癡愛、愛着、愛

染等ノ謂ニ非ス。阿闍世天竺王莽漢將門本朝等ノ如キモ國ヲ愛

セサルニハ非レトモ、タ、是レ愛染、愛着シテ國ヲ貪愛
セシ者也。今ノ所謂愛トハ、親愛、愛惜、愛樂等ノ意ニ

シテ、國家ヲ大事ニ思ヒ、愛念、愛護スル者也。凡ソ愛
國ノ方ハ上下貴賤ニ通スレトモ、先王公大人ノ愛ヲ論セ

ハ、尸子ニ愛天下者ハ得賢ト云ヘリ。賢徳アル者ヲ選

ヒ拳テ、善ク国ヲ治メシムルハ、国ヲ愛スルノ至リ也。爾ルニ彼春秋ノコロニモ其愛國ノ義ノ至ラサルコトヲ歎キテ、墨子ニハ一ノ譬況ヲ拳テ曰、王公大人ノ家一ノ牛羊アリ。自ラヨク殺サ、レハ、必良宰ヲ索メテコレヲ理セシム。又一ノ衣裳アリ。ヨ〔コ〕レヲヨク製セサレハ、必良工ヲ求テ裁セシム。又一ノ疲馬アリテ、コレヲヨク治セサレハ、必良医ヲ求テ療セシム。又一ノ危弓アリテ、コレヲヨク張ラサレハ、必良工ヲ求テ張ラシム。タトヒ骨肉ノ親、無故ノ富貴、面目美好ナル者アリトモ、誠ニ其不能ヲ知レハ、必コレニ使シメサル也。コレ何故ソナレハ、其牛羊、衣裳等ノ財ヲ敗ランコトヲ恐テ也。王公大人ノコ、ニ於ルニ当テハ、ソレ／＼ノ賢能ヲ尚トヒ使フコトヲ失ハサルナリ。爾ルニ其国家ヲ建ルニ至テハ然ラスシテ、タ、王公大人ノ骨肉ノ親ヤ、無故ノ富貴ヤ、面目美好ナル者アレハ、コレヲ拳テ治メシムル也。爾ルトキハ、王公大人ノ其国家ヲ親シムコトハ、其一ノ危弓、疲馬、衣裳、牛羊ノ財ニモ若カサル歎ト云ヘリ。コレ即賢善ノ人、国ヲ治ルトキハ、国スナハチ昌強治ノ国トナリ、不肖ノ人国ヲ治ルトキハ、国スナハチ衰乱亡ノ国ト

ナル也。故ニ墨子又糸ヲ染ル者ヲ見テ、歎シテ以為ラク、国モ亦染ルコトアリ。善キ風俗ニモ染ム可シ、亦悪キ風俗ニモ染ム可シト。カクノ如クナルトキハ、国ヲ親愛スルコト、須カラク一家ノ眷属堂宇ヲ顧念スルカ如クナルヘシ。然ルトキハ終ニ天下ノ肥ルニ至ラン。禮 運人其軀ヲ愛シテ穀食ヲ以自ヤシナヘハ、其体膚ノ肥ルカ如ク、ヨク徳化ヲ以道マツヒキ養ヘハ、父子兄弟夫婦ノヨク調フハ家ノ肥タル也。君臣ヨク相契フハ国ノ肥タル也。天子諸侯大夫士庶人、ミナヨク其宜キヲ得ルハ天下ノ肥タル也。ヨク天下ヲシテ肥シムルハ愛國ノ至リ也。若タ、其国土ノ腴美、国風ノ文華ナルニ誇ル等ヲ以、是ヲ愛國トセハ、其愛ハ直是レ癡愛ノ愛染マツ愛着ナリ。真ノ親愛マツ愛着ノ愛ニハ非ス。劉広カ慎愛ノ篇ニ云カ如ク、犬ノ猛タルヤ其主ヲ愛セサルナシ。其主ヲ見ルトキハ騰踊シテ自禁ルコト能ハス。コレ歎愛ノ甚シキ也。其主酒ヲ沽ル。而酒酸フシテ售レサルハ何ソヤ。其猛犬ノ来人ヲ噬ムカ故也。夫レ犬タ、其主ヲ愛スルコトヲ知テ、而モ其主ノ為ニスルコト能ハサル也ト。宜ナル哉。漢土ノ如キハ古来多クタ、中華／＼ト誇レトモ、既ニ夷狄ノ君アルハ、諸夏ノナキ

カ如クナラス語ト云ニ至レリ。六朝ノ時ニ及テハ、夷狄

ノ種多ク滔天シ、近代元清ノ如キハ夷狄来テ其国ヲ奪ヘル者也。コレ彼国ノ俗其国ヲ愛セサルニハ非ス。而其愛スルノ実ヲ失ヘル者也。皇国ノ如キハ土地本トヨリ淳美ニシテ、国体モ亦皇統一系、誠ニ奉戴スルニ余リアリ。

然リトイエトモ古来タ、異口同音ニ誇大ノ語ヲナシテ規諫ノ論不_レ復多_ク、宛_レモ猛犬ノ騰踊自ラ禁ユルコト能ハサル者ノ如シ。恐クハ万邦ニ向テ其酒ノ酸キニ至ンコトヲ。人情ハ本ヨリ其安ンスル所ニ怠リ易シ。而禍イハ懈惰ニ生スルノ習ヒナレハ、庶ハクハ一ハラタ、宝祚連綿天壤無窮ノ神約ヲノミ恃マスシテ、無_レ敵国外患者ハ国恒ニ亡フノ意ヲ存シテ可ナラン歟。倉庫其枢ヲ慢スルハ盜、ニ其盜マンコトヲ教ヘ、女ノ故ラニ艶容ヲナスハ、人ニ其姪センコトヲランシユル者ナリ。コレ誠メスンハアルヘカラス。真箇ニ愛国ノ志アラン人、誰カ心ヲコ、ニ留メサラン。上来ハ在位君子ノ愛国ノ惣意ヲ叙ヘ已レリ。次ニ庶人匹夫ノ愛国ノ相ヲ申ヘハ、凡、農工商等ノ身ニ於先能ク人倫ノ道ヲ弁ヘ、堅ク王法ノ掟ヲ守リ、而其各自ニ守ル所ノ職業アレハ、其職業ニ於夙夜ニ懈ル

コトナク、利ト善トノ際ヲ分チ、己カ随意ノ利ニ從ヘハ、跖カ徒トナリ、公道ノ善事ニ從ヘハ、舜ノ徒トナル道理ヲ弁ヘテ、孜々トシテ其職業ヲ励ムヘシ。其職ニ怠ラサレハ、自然ニ其家富有ニシテ、活計乏シカラサレハ盜竊等ノ悪業ニ赴カス。便チ是レ恒ノ産アレハ恒ノ心アル者也。カクノ如ク、既ニ其家富足スルトキハ、自然ニ国家ノ不虞ノ備ヘニモ成テ、即是富国強兵ノ根基ナレハ、コレ其国恩ヲ報スル者也。然ルニ若其食足りテ、而モ礼ヲ学ハス、徒ニ飽食暖衣ノミ之レ甘ンスレハ、寔ニ禽獸ニ近シ。故ニヨク教部ノ教導ヲ服膺シ、文部ノ學問ニ從事シテ、天理人道ノ際ヲ明ラメ敬愛戴守ノ行ヒヲ専ラニシ、且アラユル文事ヲ習テ其知識ヲ広メ、一切ノ事理ニ通達スレハ、彝倫ノ道ニ謬ルコトナク、其本業ノ資ケトモナリ、隣里郷党ノ用ニモ備リ、終ニハ天下ノ宝トモナラン。天下其人ニ乏シカラサルトキハ、即チ天下其人ニ富メル也。斯クヨク天下国家ノ宝トナルニ至ラハ、便チ亦国恩ヲ報スル者也。設イ金穀富メリトモ、ヨクコレヲ裁割シテ運用スル者ナクンハアルヘカラス。又ヨク運用スヘキ智者アリトモ、其財用乏シキトキハ、亦ヨク其智ヲ伸ル

所ナシ。故ニ財用學問ノ道並ヒ行ハレテ、俱ニ乏シカラサルトキハ、真箇ニ國ノ富メル也。サレハ人々皆其財ヲ私セス、其學問ヲ私セス、之レヲ三条ノ教旨ニ會シテ一切以テ天朝ニ回向シ、國ヲ念フコト、其身ヲ念ヒ其家ヲ念フカ如クスレハ、是レ真ノ愛國ナリ。此レ所謂愛_二天下_一者ハ得_レ賢ト云ヘル者ト上下相符フテ、究竟ノ愛國コ、ニ成レル者歟。

服_丘宗_興著_二三条叢說卷之二_一